

FeliSafe-LK

Ver.6.1 対応

ユーザーズマニュアル



第 2.5 版

- ◆ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ◆ FeliSafe®は、株式会社ユタカ電機製作所の登録商標です。
- ◆ 本マニュアルは FeliSafe-LK Ver.6.01 対応となっております。

Ver.6.01 からは以下の機能が追加、変更になっています。

- ・FeliSafe Pro の連動シャットダウン用だけではなく、弊社ネットワークボード Advanced NW board II の Windows シャットダウンソフトとして使用されます。
- ・連携通知元(FeliSafe Pro、Advanced NW board II)からメッセージ毎のメッセージ表示の有無を設定したり、プログラムの実行が可能となっております。
- ・連携通知元とのアクセスの認証に従来のパスワード認証に加えてチャレンジ・レスポンス認証を追加し、リプレイ攻撃(同じ IP 元から同じパケットを発行することで同じ動作をさせる)に対して耐性をもたせるようにしました。
Advanced NW board II はチャレンジレスポンス認証のみ使用しています。
- ・FeliSafe-LK のモニタプログラムを管理者権限が無くても実行できるようにしました。同時に、管理者権限でなければ設定が出来ない様にするための設定を用意しました。
- ・イベント設定の各種設定をタブに分けていましたが、タブを廃し、1 画面に全て表示するようにしました

前バージョン FeliSafe-LK Ver.6.00 をご使用の場合、マニュアルは第 1.1 版をご使用ください。

1. 本書および本ソフトウェアは、株式会社ユタカ電機製作所が著作権を保有しています。
2. 本書および本ソフトウェアの内容の一部あるいは全部について複写、複製することは禁じられております。
3. 本書または製品の内容につきましては、将来予告無しに変更することがあります。
4. 製品の取り扱いにつきましては、取扱説明書などをよくお読みください。
5. 製品の内容につきましては万全を期しておりますが、万一不可解な点や、誤り、お気づきのことがありましたら、下記の住所に御一報くださいますようお願いいたします。
6. 運用の結果の影響については上記事項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

免責事項について

当社製品の使用に起因する事故であっても、装置・接続機器・ソフトウェアの異常、故障に対する損害、その他二次的な被害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

目 次

第1章 はじめに	1
はじめに.....	1
1-1. FeliSafe-LK の機能概要.....	1
1-2. FeliSafe-LK のプログラム.....	1
(1) サービスプログラム.....	1
(2) モニタプログラム.....	1
(3) 動作イメージ.....	1
1-3. FeliSafePro、Advanced NW board II 兼用時の注意点.....	2
第2章 ソフトウェアのインストールとスタート	3
2-1. 動作環境.....	3
2-2. インストール.....	4
2-2-1. インストールプログラムの起動(FeliSafe Pro).....	4
2-2-2. インストールプログラムの起動(Advanced NW board II).....	5
2-2-3. 上書きインストールについて(Pro、NW board II 共通).....	6
2-2-4. インストールプログラムの実行(Pro、NW board II 共通).....	6
(1) インストールの開始.....	6
(2) 使用許諾契約の確認.....	6
(3) インストール場所の指定.....	6
(4) インストールの終了.....	7
(5) インストールの失敗について.....	7
2-2-5. ファイアウォールの確認.....	7
(1) Windows XP、Windows Server2003 の場合.....	8
(2) Windows Vista 以降の場合.....	10
(3) Windows のファイアウォール以外のファイアウォールをご使用の場合.....	10
2-3. アンインストール.....	12
2-4. プログラムの起動.....	13
2-4-1. サービスプログラムの起動方法.....	13
(1) OS の「サービス」によるマネージャの起動、停止方法.....	13
2-4-2. FeliSafe-LK モニタプログラムの起動方法.....	15
2-4-3. FeliSafe-LK モニタプログラムの終了方法.....	16
2-4-4. FeliSafe-LK を常に管理者として起動する.....	17
第3章 操作方法	19
3-1. FeliSafe モニター画面の説明.....	19
3-1-1. タスクトレイ・アイコン.....	19
3-1-2. メイン画面 (モニタプログラム) の構成.....	19
3-1-3. メニュー.....	19
3-1-4. ツールバー.....	20
3-1-5. 状態表示.....	20
3-1-6. 時刻表示.....	20

3-1-7. 最終イベント表示	21
3-2. 各種機能の説明	22
3-2-1. シャットダウン時の動作.....	22
3-2-2. 設定メニュー／プロパティ	23
(1) シャットダウン・タブ	23
(2) イベント記録タブ.....	23
(3) メッセージタブ(Ver.6.01以降、メッセージ設定に移行)	24
3-2-3. 設定メニュー／イベント設定	24
3-2-4. 設定メニュー／メッセージ設定.....	27
3-2-5. 設定メニュー／アクセス設定	31
3-2-6. 設定メニュー／ping ポート開放.....	33
3-2-7. 設定メニュー／その他の設定	34
3-2-8. 記録確認	35
第4章 FeliSafe Pro の設定.....	36
4-1. FeliSafe Pro の設定と動作確認.....	36
4-2. FeliSafe Pro での設定例.....	38
第5章 Advanced NW board II の設定.....	39
5-1. イベントによるメッセージ通知の設定と動作確認	39
5-1-1. ネットワーク設定	39
5-1-2. イベント設定	40
5-2. スクリプト設定(シャットダウン通知、メッセージ通知)	41
5-3. Advanced NW board II での設定例.....	44
5-3-1. メッセージ通知例	44
5-3-2. スクリプト設定(シャットダウン通知、メッセージ通知)例	45
第6章 その他.....	46
6-1. FeliSafe-LK のエラーコード一覧.....	46
6-2. ファイアウォールについて	47

第1章 はじめに

はじめに

マニュアルに記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

留意事項

いかなる場合においても、この製品(FeliSafe-LK)の使用や使用中の問題から生ずる、いかなる損害(事業利益の損失、情報の損失、事業の中断や停止、その他の金銭的、物理的損害を含むもの、及びその他の各損害)に関して、一切の責任を負わないものとします。

1-1. FeliSafe-LK の機能概要

FeliSafe-LK は、ユタカ電機製作所製の UPS 監視ソフト FeliSafePro の連動シャットダウンを実行するため、および、ユタカ電機製作所製ネットワークボード Advanced NW board II の Windows シャットダウンソフトを兼ねたアプリケーションソフトです。

FeliSafe-LK は、ネットワークを経由し、FeliSafePro、Advanced NW board II の指示により Windows システムをシャットダウンしたり、メッセージを表示します。

また、発生イベントの記録、イベント発生時のプログラム実行などが可能です。

FeliSafe-LK Ver.6.01 以降はメッセージ毎にポップアップを表示したり、プログラム実行が可能です。

1-2. FeliSafe-LK のプログラム

FeliSafe-LK はサービスプログラムとモニタプログラムの2つのプログラムで構成されています。

(1) サービスプログラム

サービスプログラムはバックグラウンド(見えない状態)で動作し、「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」からの受信を待ちます。シャットダウン指示を受信すると Windows システムをシャットダウン、メッセージ表示通知を受信するとメッセージをポップアップで表示します。

(2) モニタプログラム

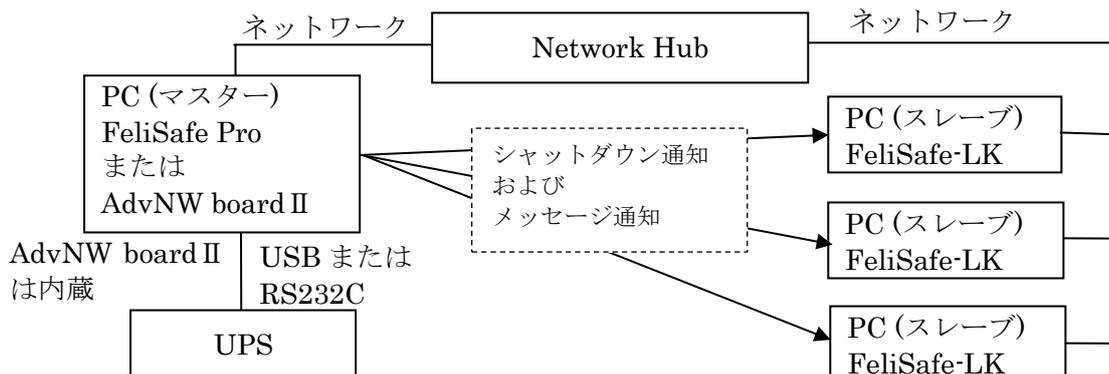
モニタモジュールはサービスプログラムの動作を設定します。

※ モニタプログラムを終了させても、サービスプログラムは停止しません。

(3) 動作イメージ

FeliSafe Pro、Advanced NW board II と FeliSafe-LK は下記のような関係となっています。

なお、イメージ図には電源線は省いています。



USB または RS232C で UPS と接続している PC(この PC をマスターとします)に FeliSafe Pro がイン

ストールします。

または UPS に内蔵されている Advanced NW board II のスクリプトやメッセージ通知先に FeliSafe-LK を設定します。

連動してシャットダウンしたい、またはメッセージ通知を受け付けたい PC(この PC をスレーブとします)に FeliSafe-LK をインストールします。

UPS で停電やその他のイベントが発生すると FeliSafe Pro が認識します。

FeliSafe Pro に前もって登録している連携通知先にシャットダウン通知やメッセージ通知をネットワーク経由で通知します。

または Advanced NW board II で停電やその他のイベントを検出すると前もって登録している連携通知先にシャットダウン通知やメッセージ通知をネットワーク経由で通知します。

スレーブ側の FeliSafe-LK はこれらの通知を受け付けるとシャットダウンしたり、メッセージをポップアップ表示したりします。

マスターの FeliSafe Pro または Advanced NW board II には連携通知先の IP アドレスとパスワードを設定します。スレーブの FeliSafe-LK でも送信元の IP アドレスとパスワードを設定します。

これらが一致したときのみ FeliSafe-LK はシャットダウンを行ったり、メッセージ通知を表示します。シャットダウン通知を送る/送らない、メッセージ通知を送る/送らない、はマスター、スレーブ側それぞれで設定が可能です。メッセージは受け取るがシャットダウンはしない、ということも可能です。

また、ネットワーク上ではこれらのデータは暗号化されていますので、パスワードが漏れることはありません。

FeliSafe Pro では最大 8 カ所まで通知先を設定できますので、自分自身を含め、最大 9 台までのシャットダウンが可能です。

Advanced NW board II では最大 64 組のスクリプトを設定可能ですので、最大で 64 台までシャットダウンは可能です。

FeliSafe-LK 側は 4 カ所までの送信元を設定できます。これはシャットダウン通知以外にメッセージ通知を受け付けるためだけの PC 等では複数の FeliSafe Pro や Advanced NW board II からのメッセージを受け付けられるようにするためです。

1-3. FeliSafePro、Advanced NW board II 兼用時の注意点

FeliSafe-LK は FeliSafePro、Advanced NW board II からのシャットダウン通知を受信してシステムをシャットダウンする機能、およびメッセージ通知を受信して、それをポップアップ表示したりプログラムを実行する機能があります。

シャットダウン通知の通知コードは FeliSafePro、Advanced NW board II とも共通ですが、メッセージ通知の通知コードは FeliSafePro、Advanced NW board II では異なります。全てのメッセージ通知をポップアップ表示するだけであれば通知元が FeliSafePro、Advanced NW board II のいずれであってもかまいませんが、メッセージ通知毎にポップアップ表示の有無、プログラム実行を設定したい場合は FeliSafePro、Advanced NW board II のいずれかを選択する必要があります。

設定は《 3-2-4. 設定メニュー/メッセージ設定 》で行います。

第2章 ソフトウェアのインストールとスタート

2-1. 動作環境

◆動作確認 OS（日本語システム）

- ・ Microsoft Windows 10、11 (x86) (x64)（機能制限あり：(*1)）
- ・ Microsoft Windows Server 2012 (R2 を含む)、2016、2019、2022（機能制限あり：(*1) (*2)）
- ・ Microsoft Windows Storage Server 2012(R2 を含む)、2016（機能制限あり：(*1) (*2)）
- ・ Microsoft Windows Server Iot 2019 for Storage（機能制限あり：(*1) (*2)）

備考

- ・ 組み込み用 Windows（Windows Embedded 等）はサポートしていません。
- ・ Windows の日本語版のみ対応しております。日本語版以外では正常に動作しません。
- ・ 最新の情報は、当社ホームページをご覧ください。URL は予告無く変更することがあります。
(https://www.yutakadenki.jp/support/downloadfile/FelisafePro/felisafe_pro.html#Feli_LK)

※機能制限事項

(*1) イベントコマンド機能に対話型プログラムには制限があります。

- ・ **Windows Vista** 以降の OS では、「ログイン時はログイン・アカウントで実行」にチェックが入っていないと「メモ帳」や「Word, Excle」など対話形式のプログラムは実行できません。実行確認メッセージが表示され、自動的にプログラムは起動しません。
- ・ ログオンを行っていない状態でコマンドの実行が行われた場合には、ウィンドウの表示およびプログラムへのキー入力が行えませんが、ログインしないで実行する可能性がある場合は、対話形式のプログラムは指定しないようにしてください。

(*2) **Server** 系の **Core** モードはサポートしていません。

◆必要機能

- ・ TCP / IP (IPv4、TCP Port : 38998 : 変更可能)

◆CPU

- ・ 上記 OS が動作可能なプロセッサ

◆UPS アクセサリ

- ・ ユタカ電機製作所製 UPS シャット監視ソフト「FeliSafe Pro」の付属ソフトです。
FeliSafe-LK は FeliSafe Pro のスレーブ側のソフトとして動作します。
- ・ ユタカ電機製作所製 UPS 用ネットワークボード「Advanced NW board II」の Windows シャットダウンソフトです。Advanced NW board II からのシャットダウン通知、メッセージ通知により Windows をシャットダウンしたり、メッセージをポップアップ表示します。

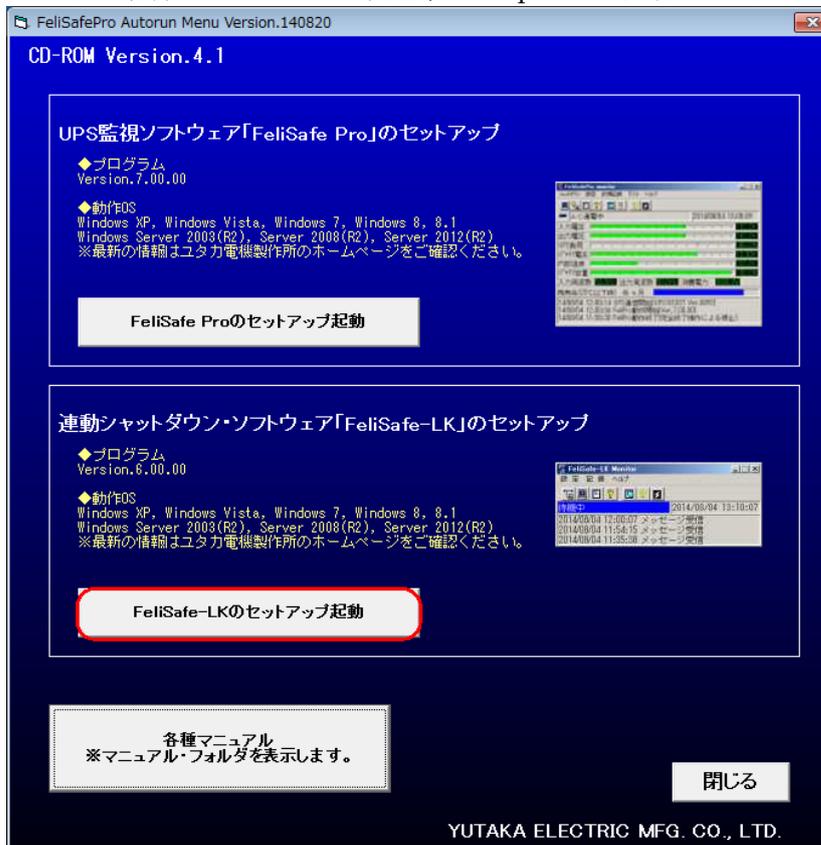
2-2. インストール

2-2-1. インストールプログラムの起動(FeliSafe Pro)

インストールは管理者アカウントを持っているユーザで起動してください。

FeliSafe Pro のインストール CD を挿入しますと、下記のようなメニューが表示されます。

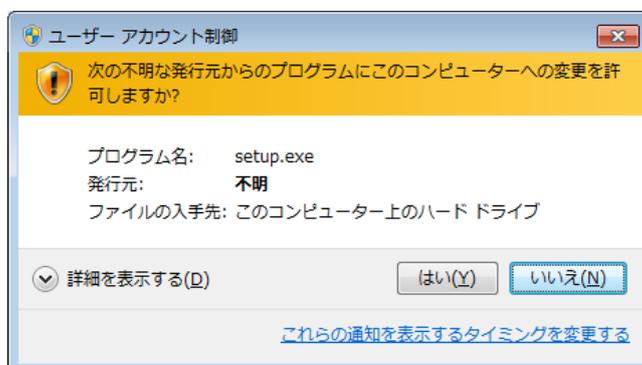
表示されない場合は CD-ROM を開き、「setup.bat」を実行してください。



上記メニューが表示されましたら、下段の「FeliSafe-LK のインストール起動」をクリックしてください。もしくは直接、「FeliSafe-LK\setup.exe」を実行することでも FeliSafe-LK のインストールプログラムの起動を行うことができます。

上段の「FeliSafe Pro」は連動シャットダウンのマスターPC(UPS と直接通信を行っている PC)側にインストールします。

※「Windows Vista」以降の OS では、インストール・プログラムを起動した際に、下記のような警告メッセージが表示されますが、「はい」や「実行」や「許可」をクリックしてください



2-2-2. インストールプログラムの起動(Advanced NW board II)

インストールは管理者アカウントを持っているユーザで起動してください。

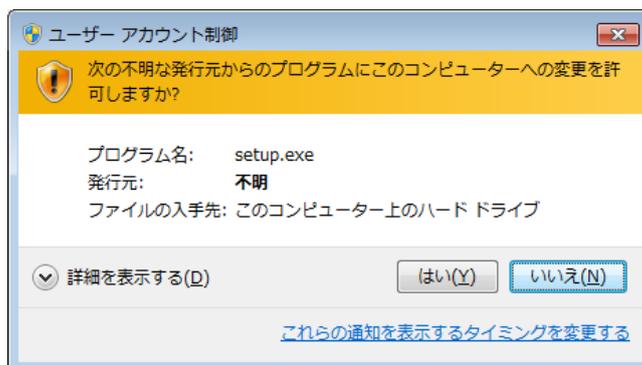
Advanced NW board II のセットアップ CD を挿入しますと、下記のようなメニューが表示されます。

表示されない場合は CD-ROM を開き、“setup.bat”を実行してください。



上記メニューが表示されましたら、上段の「FeliSafe-LK のインストール起動」をクリックしてください。もしくは直接、“FeliSafe-LK¥setup.bat”を実行することでも FeliSafe-LK のインストールプログラムの起動を行うことができます。(“FeliSafe-LK¥setup.exe”は実行しないでください。ping ポートの開放が行われません)

※「Windows Vista」以降の OS では、インストール・プログラムを起動した際に、下記のような警告メッセージが表示されますが、「はい」や「実行」や「許可」をクリックしてください。



2-2-3. 上書きインストールについて(Pro、NW board II 共通)

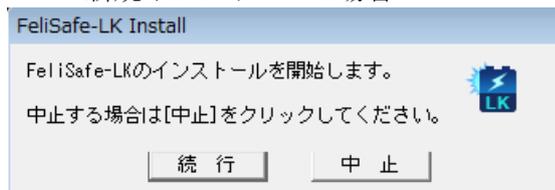
古いバージョンよりバージョンアップされる際、古いバージョンの設定を引き継ぎたい場合はインストールを実行(上書きインストール)してください。古いバージョンの設定を消去したい場合はアンインストール後、新規にインストールしてください。上書きインストールでは正常に動作しない場合、一旦アンインストールしてから新規にインストールしてください。

2-2-4. インストールプログラムの実行(Pro、NW board II 共通)

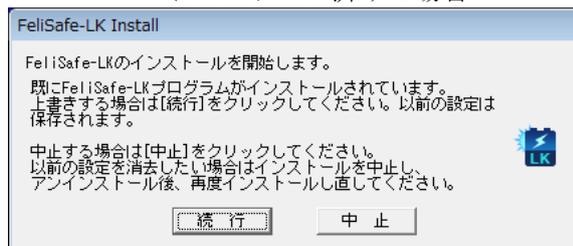
(1) インストールの開始

インストールプログラムが起動されると下記のような確認ウィンドウが表示されます。

新規インストールの場合



インストール済みの場合



「続行」をクリックするとインストールプログラムが実行されます。

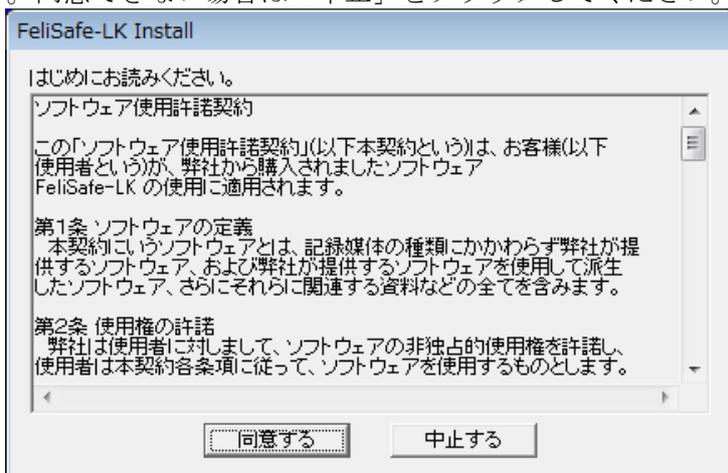
インストール済みの場合、それまでの設定を引き継ぎ、FeliSafe-LK プログラムは上書きされます。FeliSafe-LK プログラムが実行中なら FeliSafe-LK プログラムを停止します。

インストール中でも「キャンセル」ボタンによって作業の中断が可能です。中断を行うことにより不要なファイル等が残ることがございますので特に必要のない場合は中断を行わないでください。

(2) 使用許諾契約の確認

インストール時に使用許諾契約の確認がございます。

内容をよくお読みになり、同意できる場合は「同意する」をクリックしてください。インストールを続けます。同意できない場合は「中止」をクリックしてください。インストールを中断します。

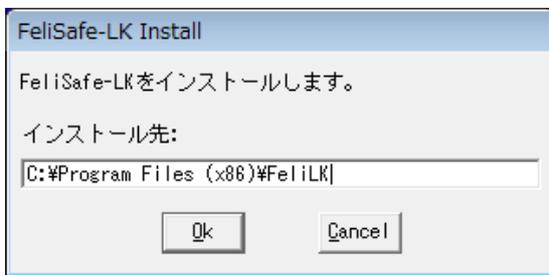


(3) インストール場所の指定

新規にインストールする場合はインストールフォルダを確認しますので必要ならばインストールするフォルダを入力し直してください。

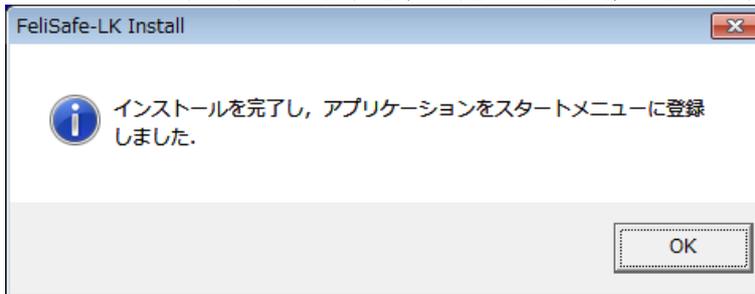
上書きインストールの場合は既存の設定を引き継ぎますので、この画面は表示されません。

[OK] ボタンをクリックしますとインストールを開始し、ファイルのコピーが始まります。



(4) インストールの終了

インストールが正常に終了しますと、下記の画面が標示されます。



(5) インストールの失敗について

上書きインストールを行う際、現在動作している FeliSafe-LK を停止させますが、稀に OS がプログラムファイルのロック解除に時間がかかることがあり、その場合は下記のようなメッセージが出る場合があります。



このような表示が出た場合、一旦「中止」をクリックしてください。下記のメッセージが表示されますので、再度、インストールを行ってください。

何回行っても同じメッセージが表示される場合、他のアプリケーションにより、ファイルがロックされていることがあります。その場合は Windows を一旦再起動し、再度インストールを行ってください。



2-2-5. ファイアウォールの確認

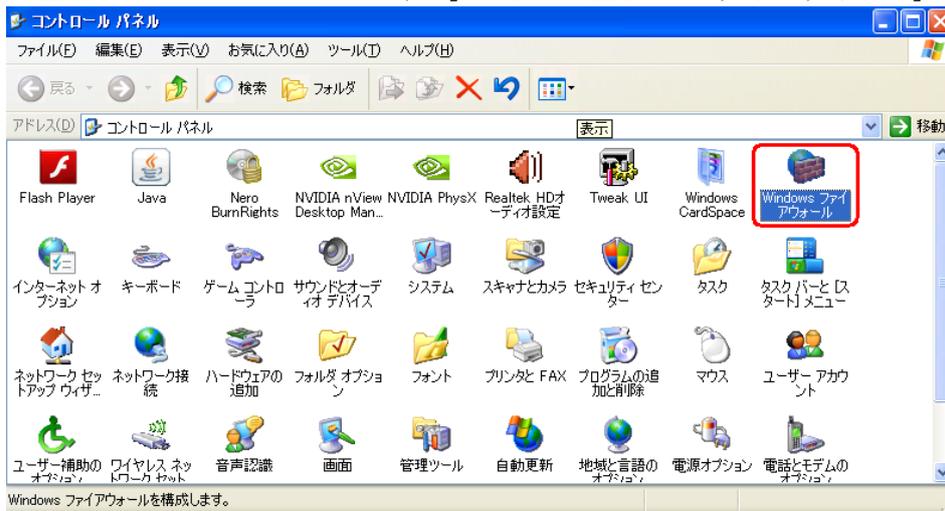
FeliSafe Pro 用でのインストールが正常に終了すると Windows のファイアウォールの例外に FeliSafe-LK が追加されています。下記の方法で確認が出来ます。

Advanced NW board II で「2-2-2. インストールプログラムの起動」にてインストールした場合は、さらに ping の受信も例外に追加しています。CD-ROM の"setup.exe"を直接実行した場合は"ping"の受信用の例外が追加されていないことがありますので、その場合は FeliSafe-LK のメニューで ping ポートの開放を行

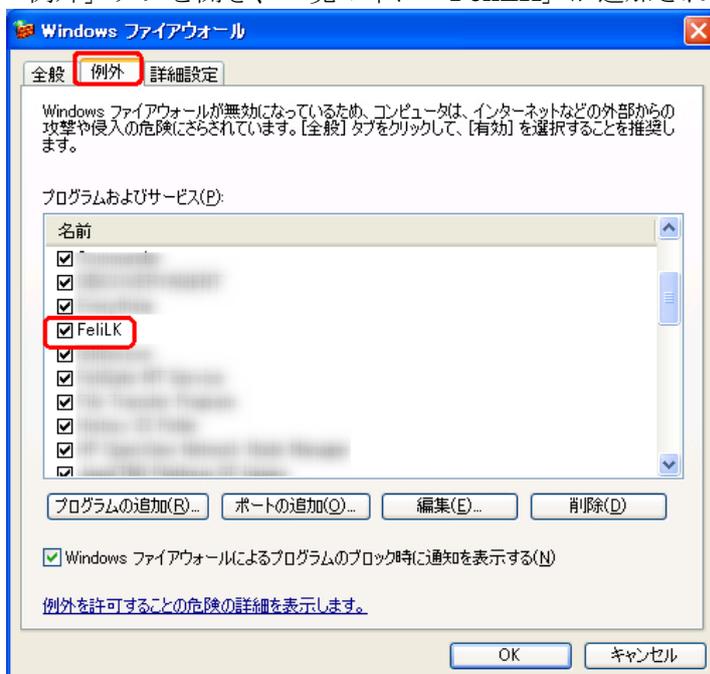
います。(≪3-2-6. 設定メニュー/ping ポート開放≫)

(1) Windows XP、Windows Server2003 の場合

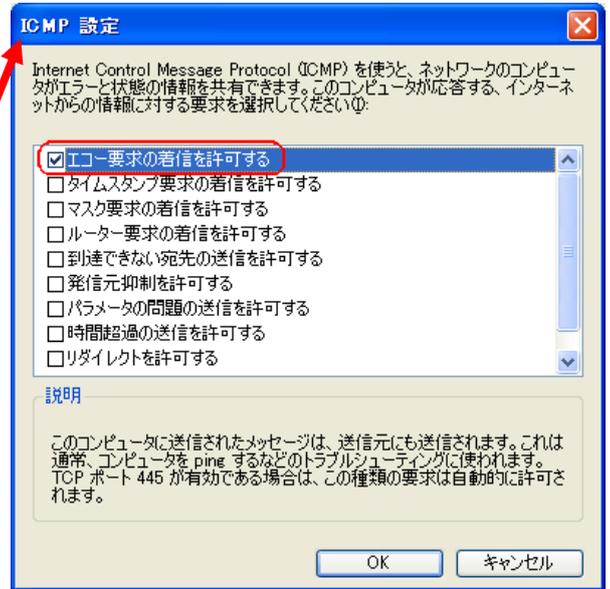
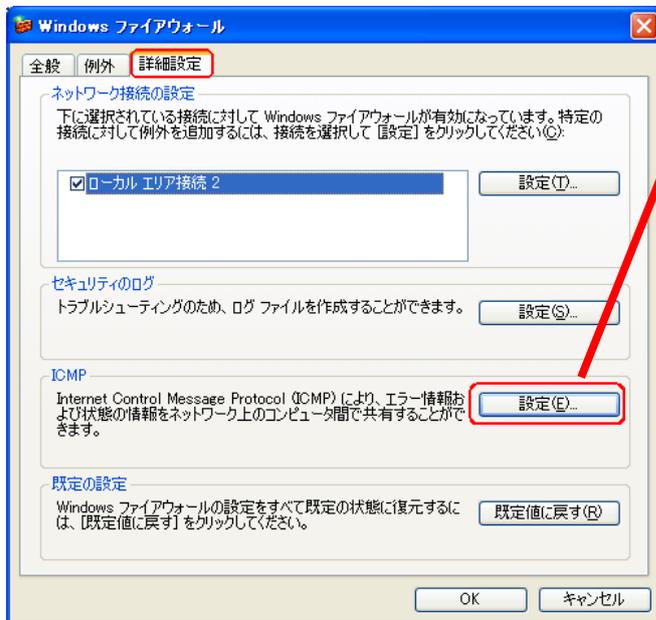
- ① Windows の「コントロールパネル」より「Windows ファイアウォール」を起動します。



- ② 「例外」タブを開き、一覧の中に「FeliLK」が追加されていることを確認してください。

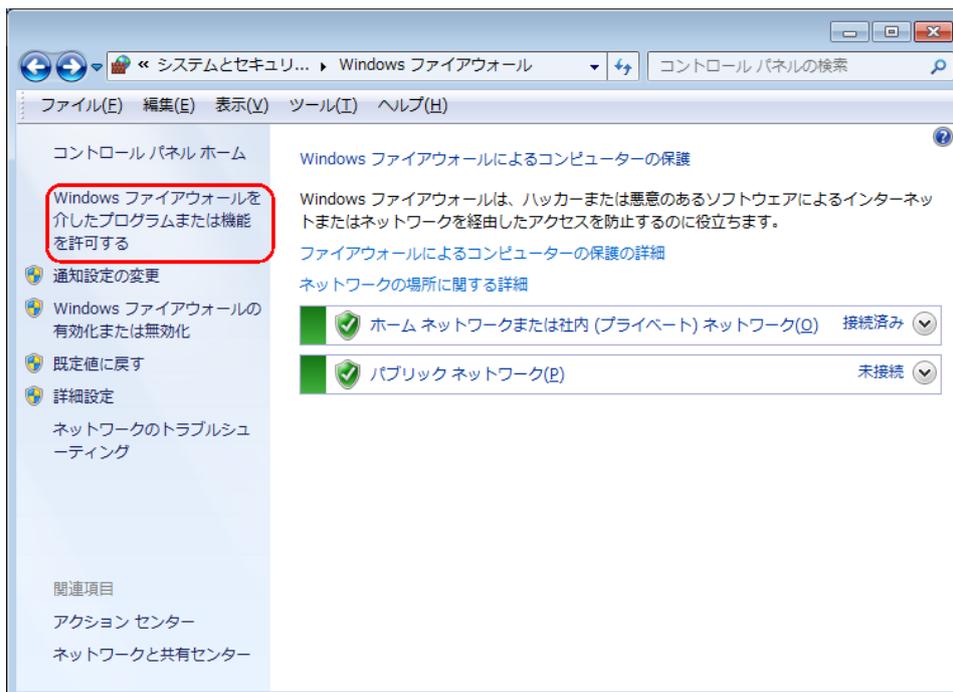


- ③ Advanced NW board II 用インストールした場合はさらに「詳細設定」タブを開き「ICMP」の「詳細設定」を開き「エコー要求の着信を許可する」にチェックが入っていることを確認してください。チェックが入っていない場合、≪第5章 Advanced NW board II の設定と動作確認≫で「ping ポート開放」を行ってください。

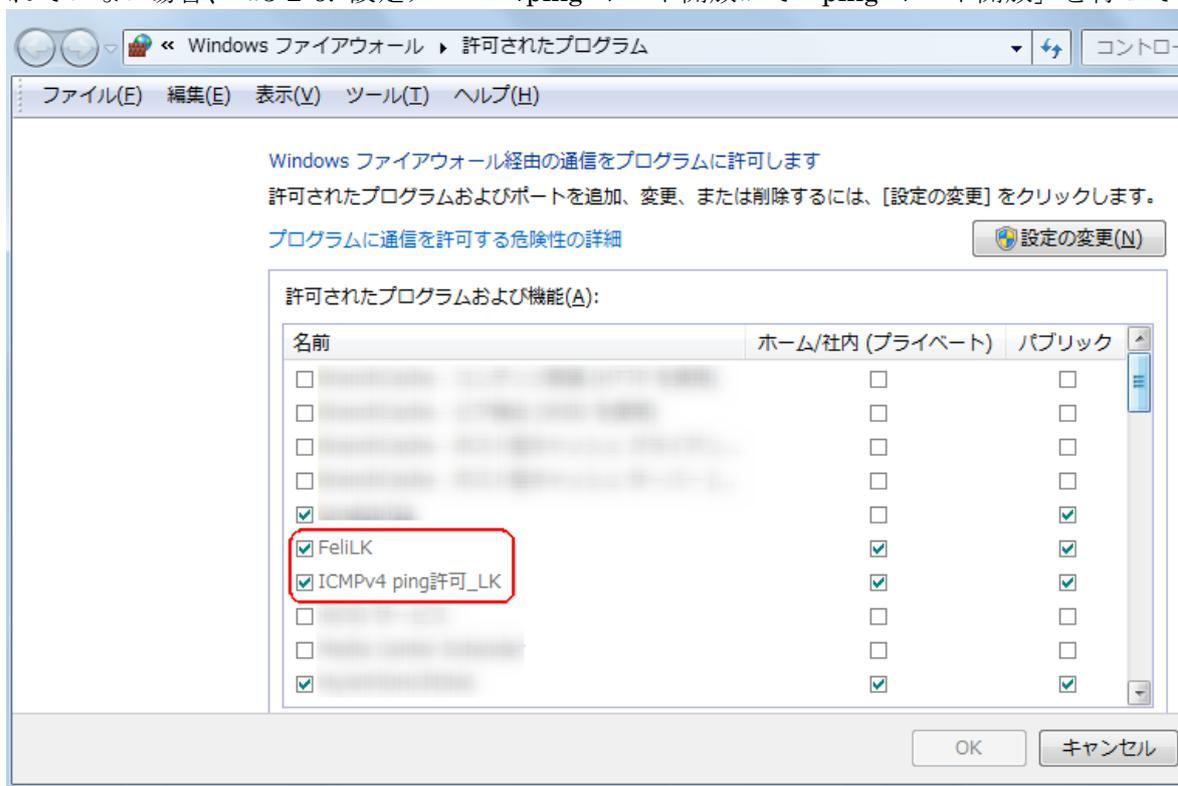


(2) Windows Vista 以降の場合

- ① Windows の「コントロールパネル」/「システムとセキュリティ」より「Windows ファイアウォール」の「Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する」をクリックします。



- ② 一覧の中に「FeliLK」が追加されていることを確認してください。Advanced NW board II 用にインストールした場合はさらに「ICMPv4 ping 許可_LK」が追加されていることを確認してください。Advanced NW board II をご使用で、「ICMPv4 ping 許可_LK」が追加されていない場合、<<3-2-6. 設定メニュー/ping ポート開放>>で「ping ポート開放」を行ってください。



(3) Windows のファイアウォール以外のファイアウォールをご使用の場合

Windows 以外のファイアウォールソフトをご使用の場合は FeliSafe-LK への通信がブロックされることがあります。また、ウイルス対策ソフトによってはファイアウォール機能を持っているものもございます。この場合も FeliSafe-LK への通信がブロックされることがあります。ファイアウォールソフトやウイルス対策ソフトをご使用の場合は手動で FeliSafe-LK プログラムを例外や

許可プログラムに登録してください。

許可が必要なプログラムは

C:\Program Files\FeliLK\FeliLkSv.exe (x86 の場合)

C:\Program Files (x86)\FeliLK\FeliLkSv.exe (x64 の場合)

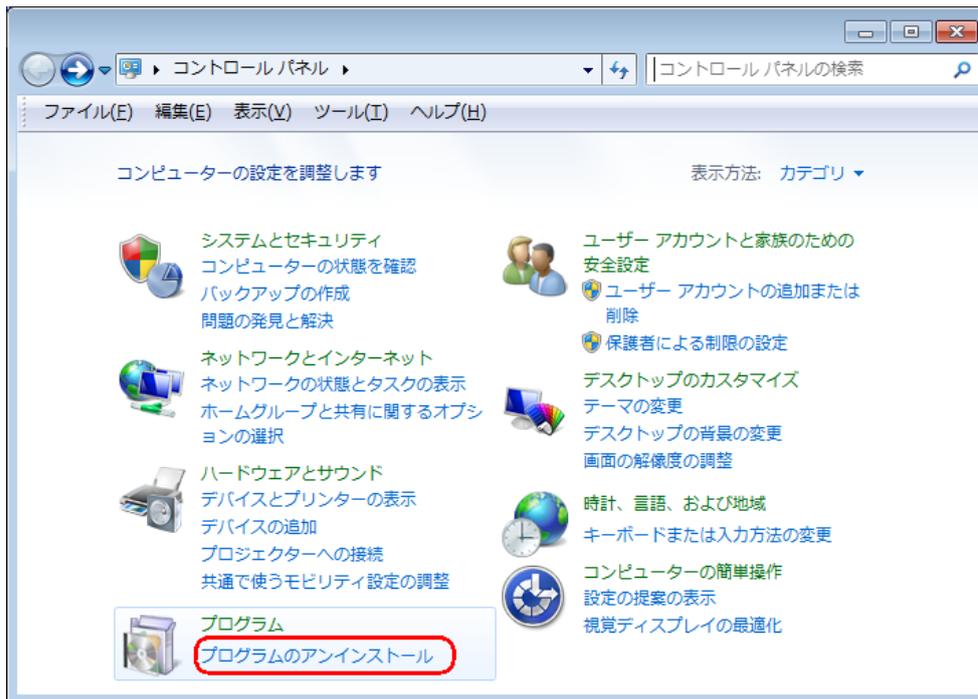
ですので、各ソフトの手順で登録してください。

Advanced NW board II 用の場合はさらに ping の応答を例外や許可に追加してください。

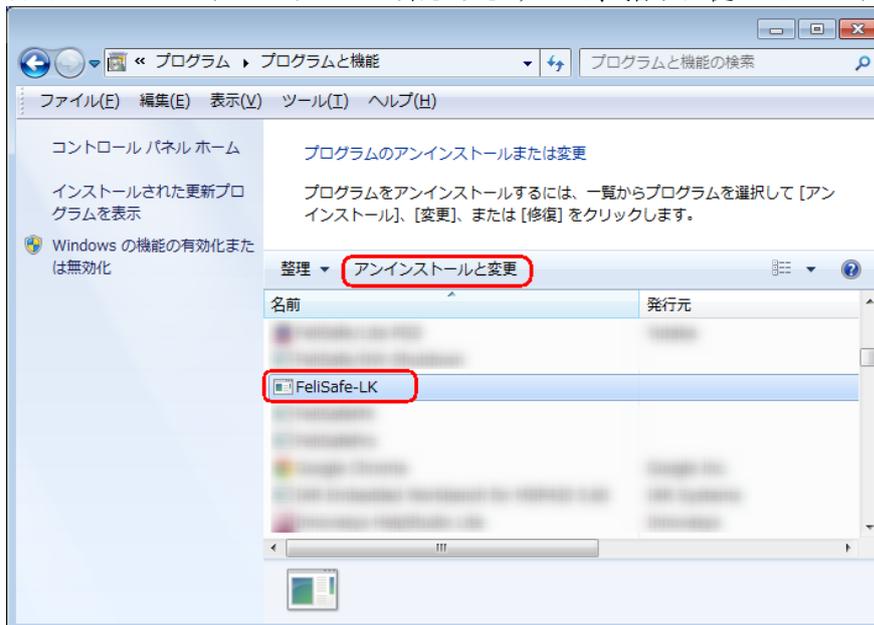
ping は"ICMP エコー要求"や"ICMP ECHO"等で表現されることもあります。

2-3. アンインストール

FeliSafe-LK プログラムをアンインストールするにはコントロールパネルの「プログラムのアンインストール」をクリックしアンインストールの画面を表示します。



「FeliSafe-LK」を選択し、「アンインストールと変更」を実行してください。
FeliSafe-LK のアンインストールが始まりますので、指示に従ってアンインストールしてください。



※「Windows Vista」以降の OS では、削除プログラムを起動した際に、警告メッセージが表示されますが、「実行」や「許可」を選択し、進めてください。

2-4. プログラムの起動

2-4-1. サービスプログラムの起動方法

FeliSafe-LK の UPS 監視プログラムはサービス・プログラムとして動作しますので、OS が起動する際に自動的に起動します。そのため、通常 UPS 監視プログラムの起動や停止を行う必要はありませんが、正常に起動しない場合や、動作が異常な場合は、監視プログラムの停止や起動を行ってください。

手動で監視プログラムを停止したり起動する場合、下記の方法で行ってください。

なお、下記操作は管理者アカウントで行ってください。

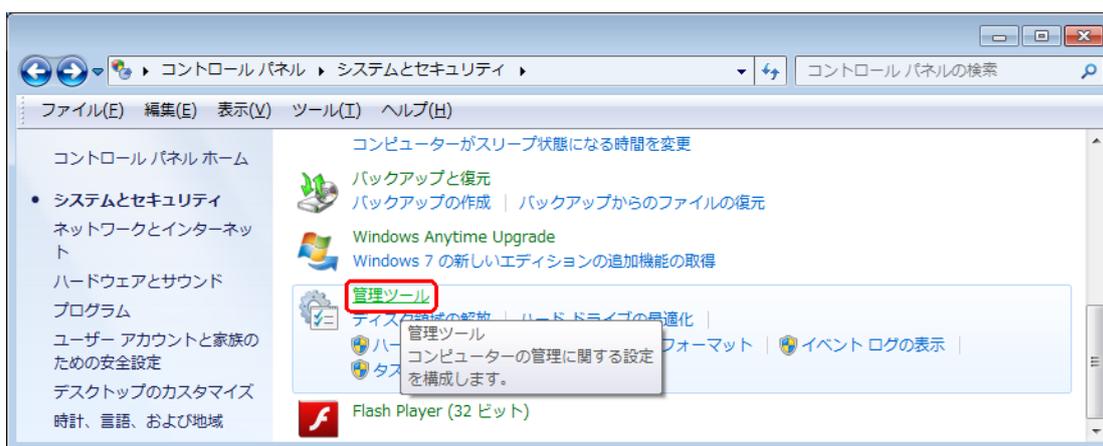
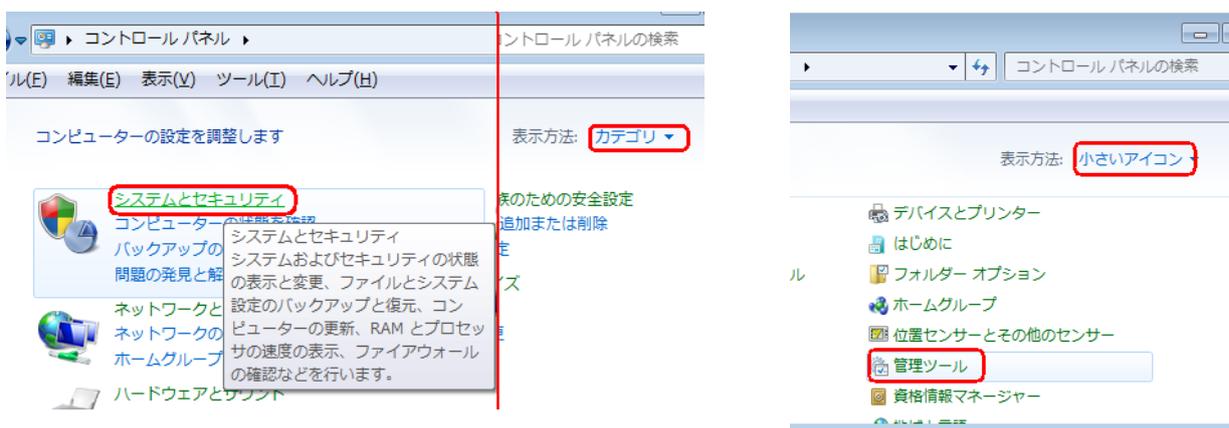
UPS 監視プログラムが停止していても FeliSafe-LK モニタを「管理者として実行」で起動すると UPS 監視プログラムも自動的に起動します。

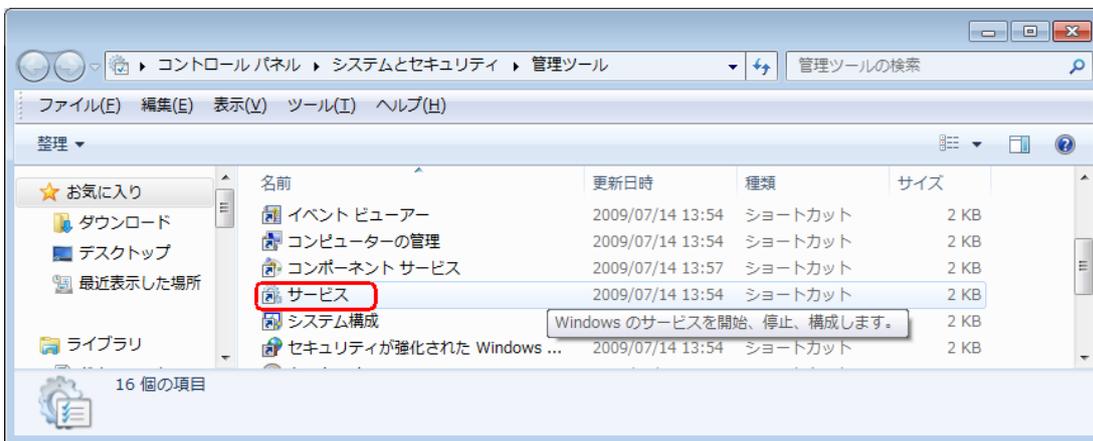
【注意】

サービスプログラムを停止すると FeliSafe Pro、Advanced NW board II からの通知を受けなくなり、停電時に自動でシャットダウン処理は行われなくなります。

(1) OS の「サービス」によるマネージャの起動、停止方法

「コントロールパネル」を開き「カテゴリ」表示なら「システムとセキュリティ」→「管理ツール」→「サービス」を、「小さいアイコン」なら「管理ツール」→「サービス」の順に起動します。

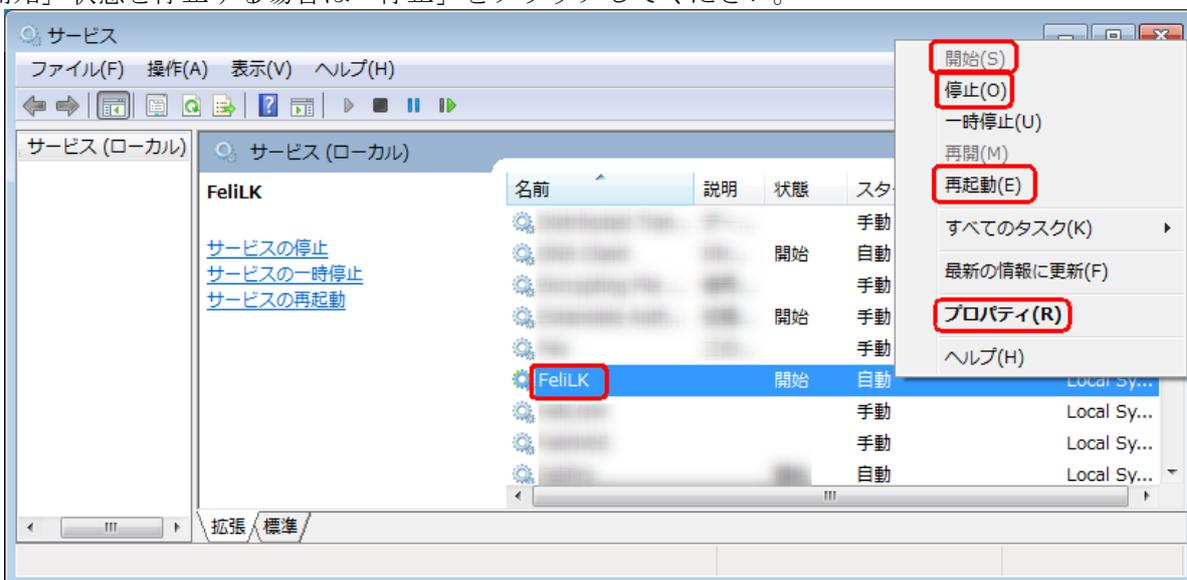




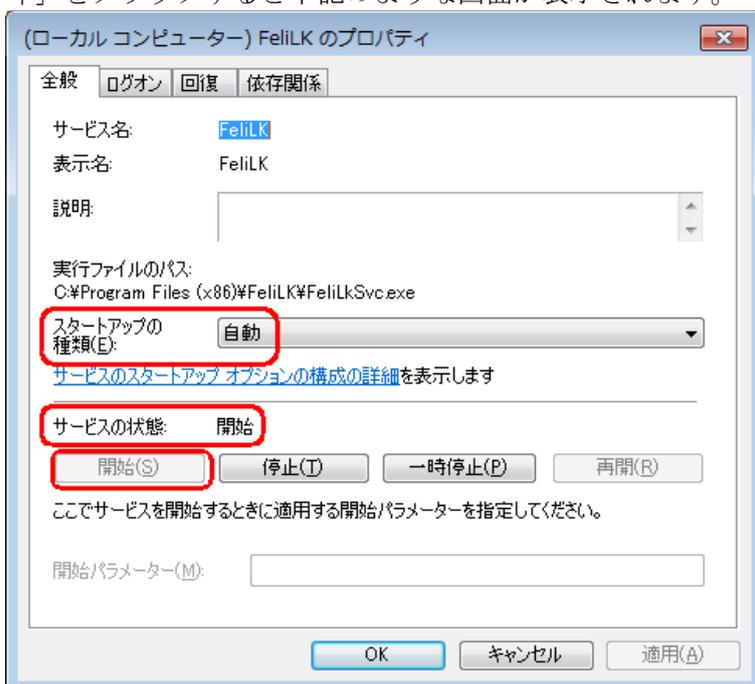
一覧に“FeliLK”サービスがあり、「状態」が「開始」でなければ、「FeliLK」を右ボタンをクリックし「開始」をクリックしてください。

「開始」状態を再起動する場合は「再起動」をクリックしてください。

「開始」状態を停止する場合は「停止」をクリックしてください。



もし、「スタートアップの種類」が「自動」以外なら“FeliLK”をダブルクリックするか上記画面で「プロパティ」をクリックすると下記のような画面が表示されます。



「スタートアップの種類」が「自動」以外になっていれば「自動」にしてください。

「サービスの状態」が「開始」になっている場合、その下の「停止」ボタンをクリックすることで停止に出来ます。

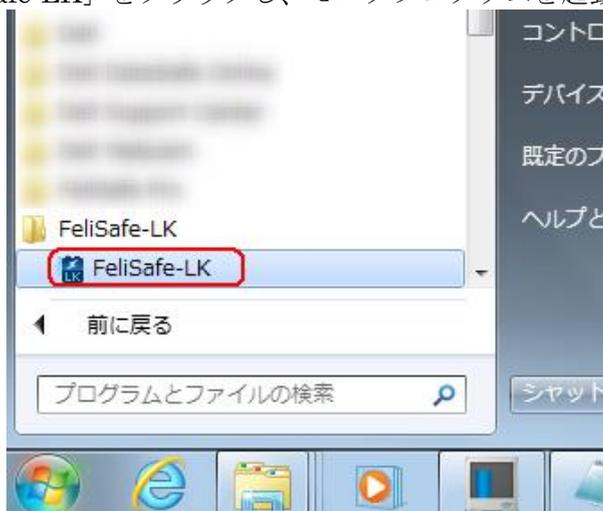
「サービスの状態」が「停止」になっている場合、その下の「開始」ボタンをクリックすることで開始に出来ます。

変更が終われば「OK」ボタンをクリックしてください。

FeliLK サービスの各種動作設定や動作状況の確認は FeliSafe-LK モニタにより行います。

2-4-2. FeliSafe-LK モニタプログラムの起動方法

システムの「スタート」メニューから「全てのプログラム」をクリックし「FeliSafe-LK」フォルダより「FeliSafe-LK」をクリックし、モニタプログラムを起動します。

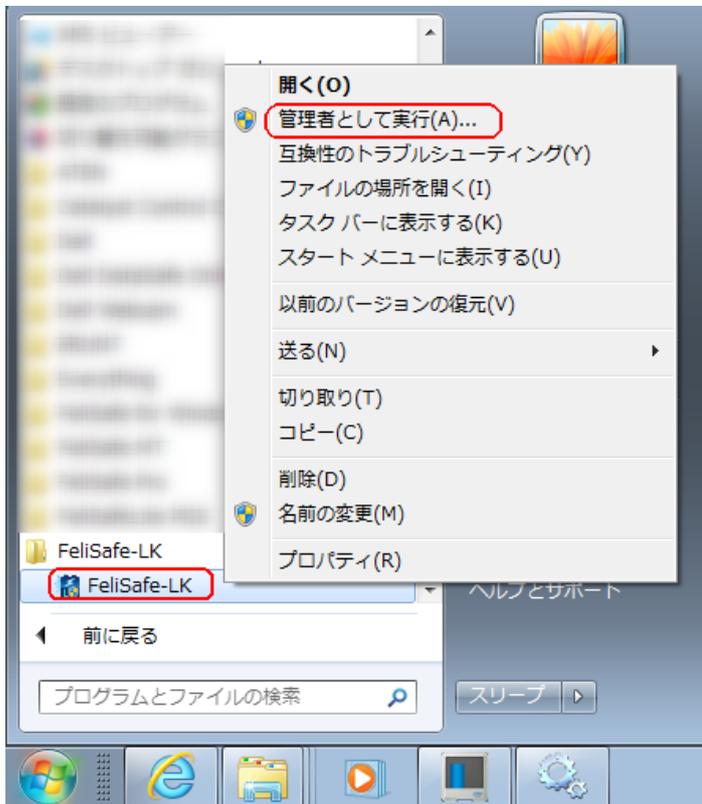


【備考】

Ver.6.00 では管理者権限でなければ起動できませんでしたが、Ver.6.01 以降は管理者権限でなくとも起動できるようにしました。管理者権限でなければ設定操作を行えないようにするには「3-2-7. 設定メニュー/その他の設定」の「動作権限」で行います。この設定にて「管理者グループでのみ操作可能。全ユーザで表示可能」を設定した場合、管理者権限でログインしてもご使用の環境では操作できないことがあります。その場合は「管理者として実行」で起動してください。

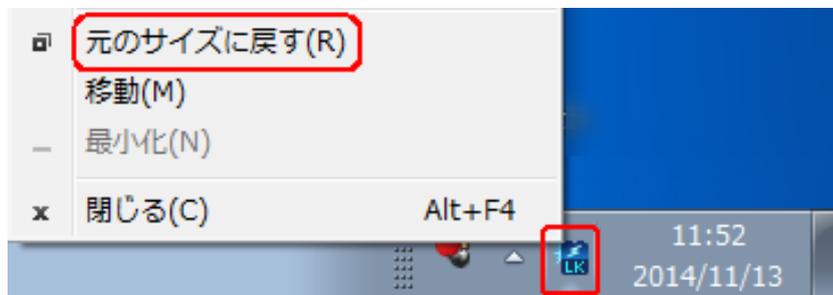
管理者として実行する場合はシステムの「スタート」メニューから「全てのプログラム」をクリックし「FeliSafe-LK」フォルダより「FeliSafe-LK」を選択し、右ボタンをクリックします。メニューの中の「管理者として実行」をクリックし、管理者として実行します。

常に管理者権限で起動する場合は「2-4-4. FeliSafe-LK を常に管理者として起動する」をご参照ください。



FeliSafe-LK モニタが起動すると、タスクトレイ内に FeliSafe-LK のアイコンが表示されます。

FeliSafe-LK モニタ画面を表示する場合は、タスクトレイ内の FeliSafe-LK アイコンを「ダブルクリック」するか、アイコン上で左ボタンまたは右ボタンをクリックし、表示されるメニューの中から、「元のサイズに戻す」を選択してください。

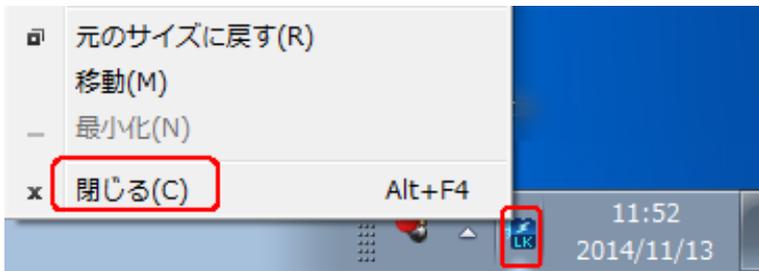


2-4-3. FeliSafe-LK モニタプログラムの終了方法

FeliSafe-LK モニタが表示されている場合は、モニタのタイトルバー右端の「×」ボタンをクリックするか、タイトルバー左端の FeliSafe-LK アイコンマークをクリックし、表示されたメニューより、「閉じる」を選択してください。



タスクトレイ内に格納されている場合は、アイコン上で左ボタンをクリックし、表示されるメニューから「閉じる」を選択してください。

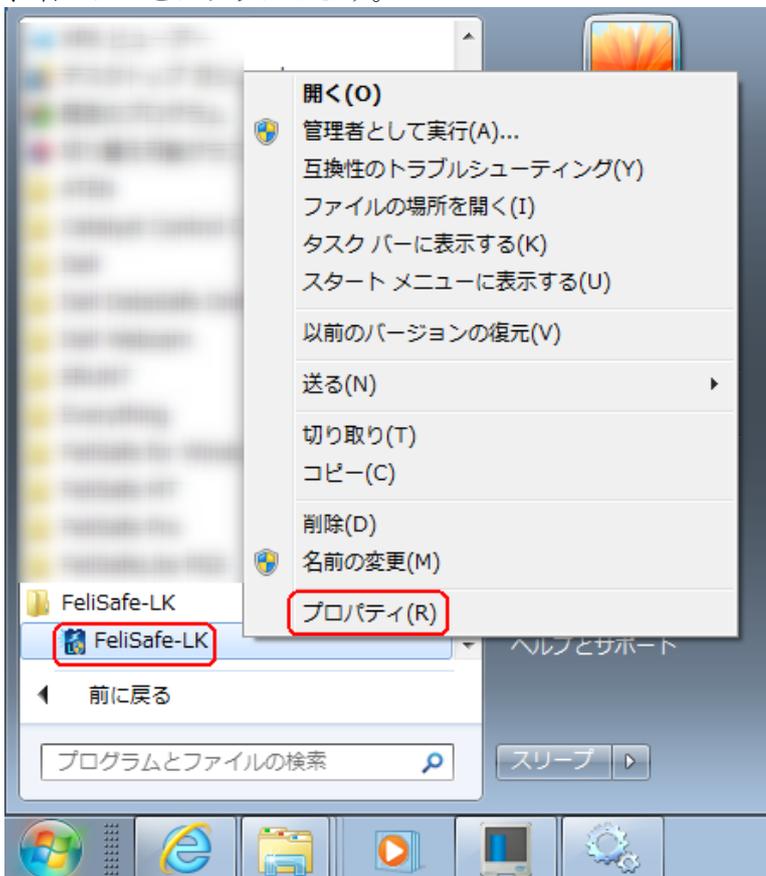


FeliSafe-LK モニタを終了させても UPS 監視プログラム(サービスプログラム)は動作し続けていますので、FeliSafe-Pro、Advanced NW board II からのシャットダウン通知を受けるとシャットダウン処理が行われま

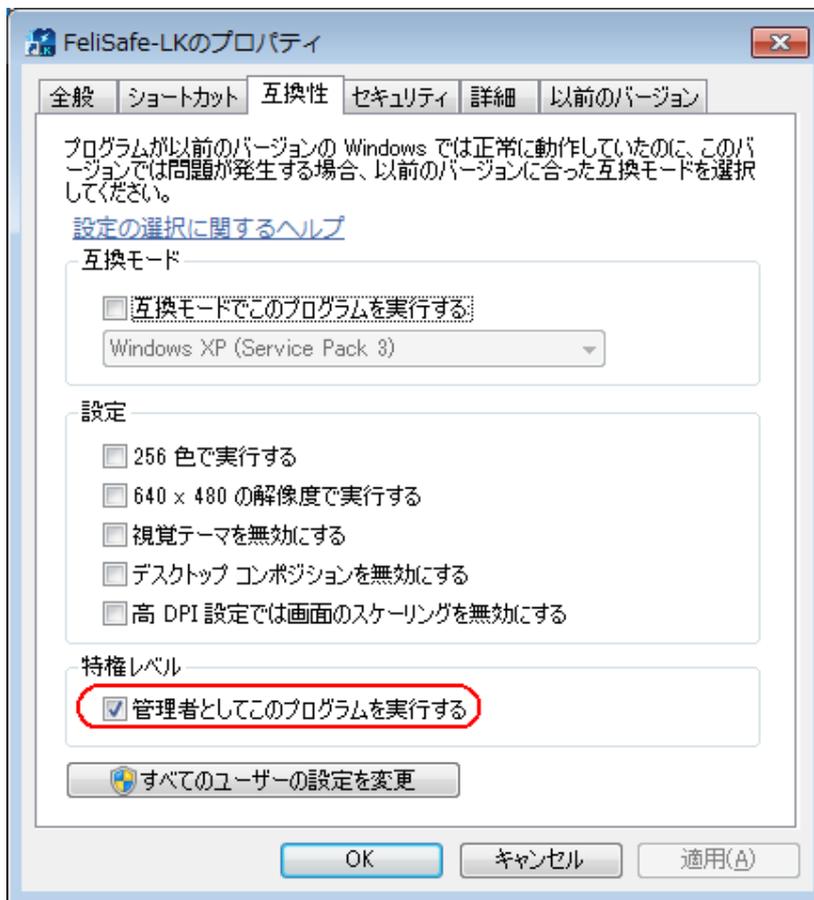
す。

2-4-4. FeliSafe-LK を常に管理者として起動する

FeliSafe-LK モニタを常に「管理者として実行」するには「FeliSafe-LK」フォルダより、「FeliSafe-LK」を選択し、右ボタンをクリックします。



メニューの中の「プロパティ」をクリックし、プロパティ画面を表示します。



「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れると、以降、スタートメニューからの起動時には常に管理者として起動します。

第3章 操作方法

3-1. FeliSafe モニター画面の説明

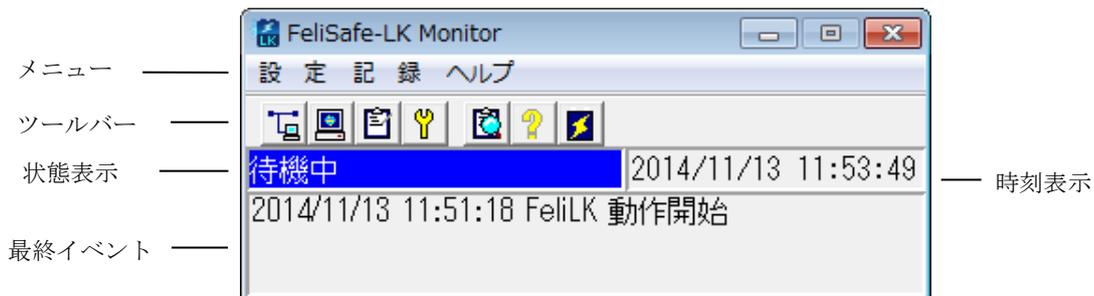
3-1-1. タスクトレイ・アイコン

モニタプログラムはタスクトレイアイコン状態で起動されます。

モニタプログラムの起動方法については「2-4-2. FeliSafe-LK モニタプログラムの起動方法」をご確認ください。



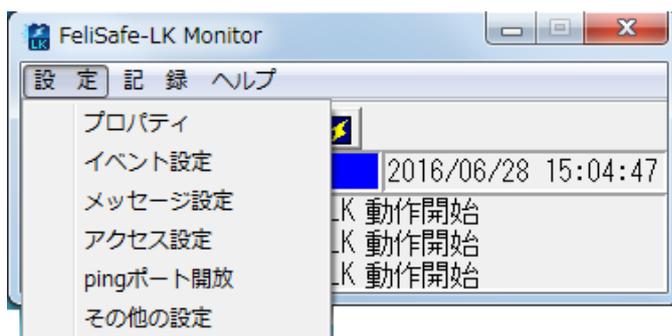
3-1-2. メイン画面（モニタプログラム）の構成



3-1-3. メニュー

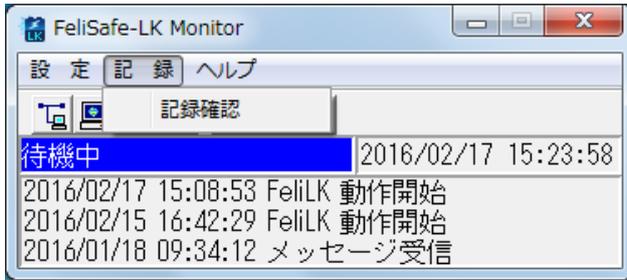
以下のメニュー項目があります。

◆設定



- ・プロパティ
- ・イベント設定
- ・メッセージ設定(Ver.6.01 より追加)
- ・アクセス設定
- ・ping ポート開放(Ver.6.01 より追加。Advanced NW board II 用)
- ・その他の設定

◆記録



- ・記録確認

◆ヘルプ



- ・ヘルプ
- ・バージョン

※管理者のないユーザーアカウントでは一部のメニューが無効になります。

3-1-4. ツールバー

ツールバー上のボタンを押すことにより、下記に示した操作を行います。



アクセス設定



シャットダウン



イベント記録設定



イベント設定



イベント記録表示



FeliSafe-LK ヘルプ



FeliSafe-LK について

※管理者権限のないユーザーアカウントでは一部のボタンが無効になります。

3-1-5. 状態表示

現在の状態やイベント状態を表示します。

《3-1-7. 最終イベント表示》に一覧を記載しております。

3-1-6. 時刻表示

現在の時刻（日時）を表示します。

3-1-7. 最終イベント表示

最近発生したイベントを3件まで表示します。

プロパティ設定、イベント設定のイベント記録の有無に関係なく全てのイベントが表示されます。

表示内容には以下の項目があります。

- ・状態表示 : 状態表示にのみ表示されるメッセージ
- ・最終イベント : 最終イベント表示やイベントログに記録される内容

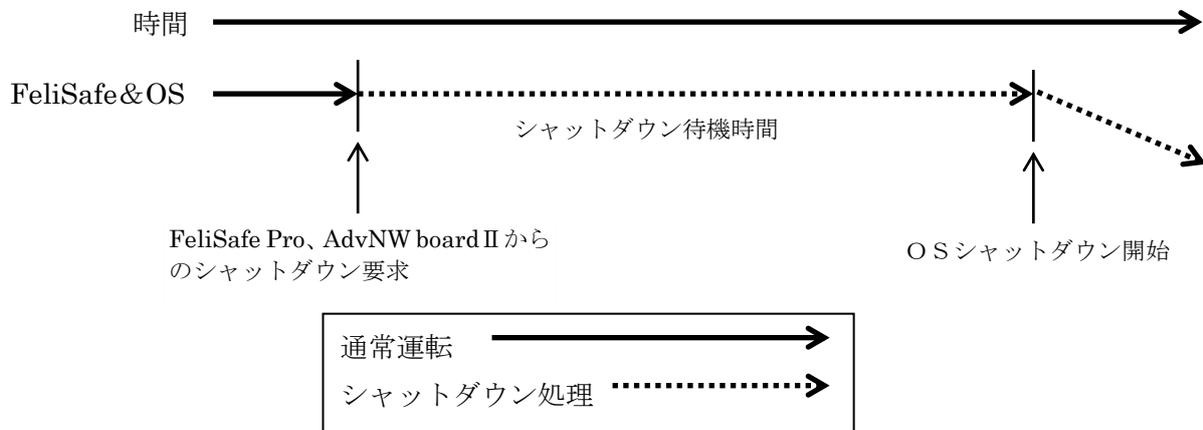
メッセージ	状態表示	最終イベント	メッセージの意味
FeliLK 動作開始	○	○	サービスプログラムの動作を開始しました。
待機中	○		待機状態です。
シャットダウン待機	○	○	シャットダウンの待機中です。
シャットダウン開始	○	○	シャットダウンを開始しました。
Shutdown 通知受信		○	シャットダウン通知を受信しました。*1 この通知を受信しますと、以下、 「シャットダウン待機」 「シャットダウン開始」 の順に進み、システムをシャットダウンします。 イベントログには 「Shutdown 通知受信(送信元 IP)」 となります。
メッセージ受信		○	メッセージ通知を受信しました。*1 イベントログには 「メッセージ受信(送信元 IP : メッセージ番号 : メッセージ文字列)」 となります。
サービスプログラム停止	○	○	サービスプログラムが停止しています。 《2-5-1 サービスプログラムの起動方法》を参照し、サービスプログラムを起動してください。再度停止する場合は一旦 Windows を再起動するか、FeliSafe-LK を一旦、アンインストールし、再度インストールし直してください。
通信 OPEN 失敗	○	○	ネットワーク通信の OPEN に失敗しました。 他のアプリケーションが同じポート番号を使用している場合などに発生します。この場合は《3-2-4. 設定メニュー/アクセス設定》の「ポート番号」を変更してください。 もしくは Windows のネットワークが無効になっている場合に発生することがあります。

*1: 受信していても「アクセス設定」の IP アドレスやパスワードが一致しない場合は無視し、記録も残りません。

3-2. 各種機能の説明

3-2-1. シャットダウン時の動作

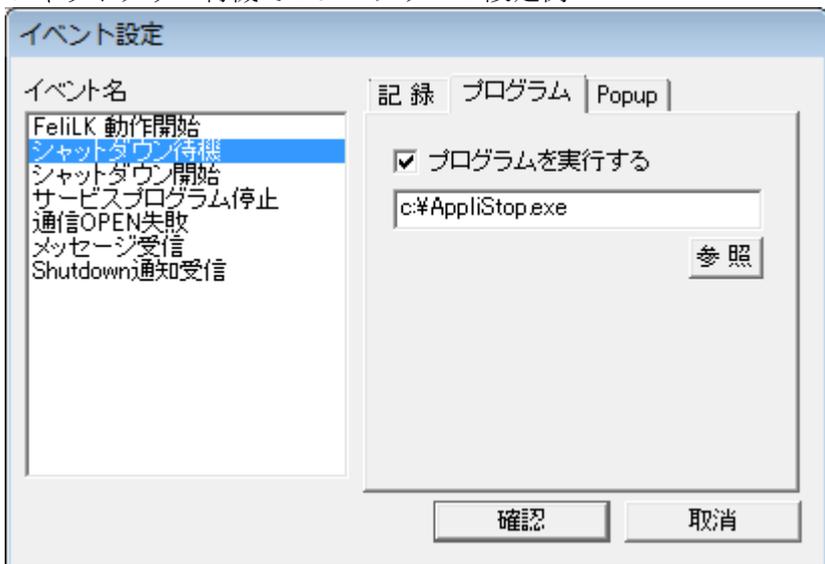
「FeliSafe-LK」は、「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」より Windows シャットダウンの要求を受信しますと、以下の手順で Windows のシャットダウンを行います。



◆用語解説

シャットダウン要求	FeliSafe Pro、Advanced NW board II からのシャットダウン要求を受信。
シャットダウン待機時間	FeliSafe-LK に設定されているシャットダウン待機時間。 アプリケーションを止めるためのプログラムを実行する場合は「イベント設定」の「シャットダウン待機」の「プログラム」にプログラムを登録します。
OS シャットダウン開始	Windows のシャットダウンを開始します。 FeliSafe-LK も動作を終了します。

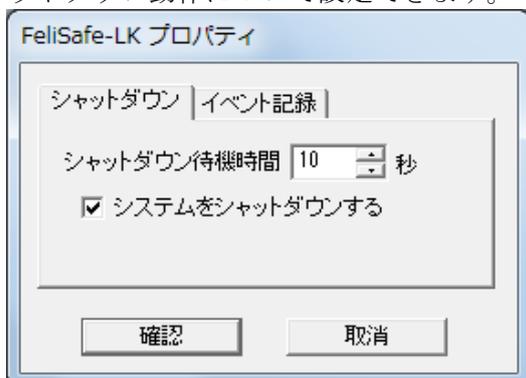
◆シャットダウン待機でのプログラムの設定例



3-2-2. 設定メニュー／プロパティ

(1) シャットダウン・タブ

メイン画面上の  アイコンの実行または、「設定」メニューの「プロパティ」の「シャットダウン」タブを選択することで、「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」からのシャットダウン要求を受信してからのシャットダウン動作について設定できます。



◆シャットダウン待機時間

「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」からのシャットダウン通知を受信してから、実際にシステムをシャットダウンするまでの待機時間を設定します。

「イベント設定」の「シャットダウン待機」イベントでプログラムを実行した場合、この時間が経過するまで、シャットダウン開始は行われません。プログラムが実行中でもこの時間を経過するとシャットダウン開始となり、OS のシャットダウンが始まります。

◆システムをシャットダウンする

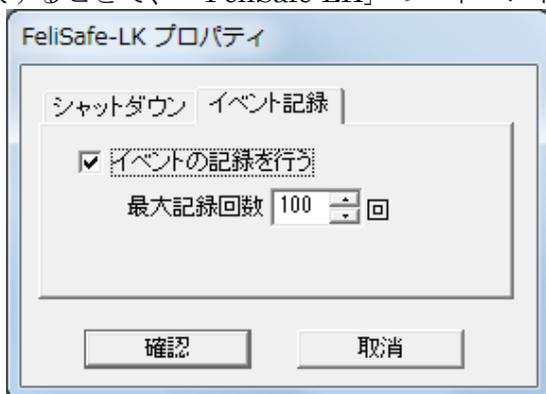
FeliSafe-LK による Windows シャットダウン以外のシャットダウン方法を必要とする場合は、このチェックを外してください。

チェックを外した場合は、FeliSafe-LK は「シャットダウン開始」イベントまでを処理し終了します。

別のシャットダウン方法を指定する場合は、「イベント設定」メニューにて、シャットダウンプログラムを指定してください。

(2) イベント記録タブ

メイン画面上の  アイコンの実行または、「設定」メニューの「プロパティ」の「イベント記録」タブを選択することで、「FeliSafe-LK」の「イベント記録」機能を有効または無効に設定できます。



◆イベントの記録を行う

また、別メニュー イベントの記録を行う場合は、チェックを入れてください。 の「イベント設定」メニューでは、各イベント毎の記録設定を行うことができます。

◆最大記録回数

イベント記録の回数を設定します。1～9999 回まで指定できます。

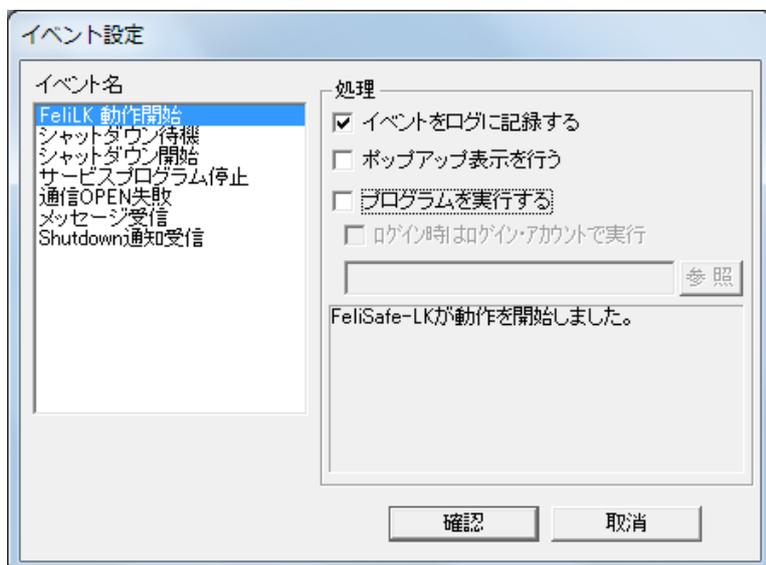
(3) メッセージタブ(Ver.6.01 以降、メッセージ設定に移行)

Ver.6.00 にありましたメッセージタブでの設定は、Ver.6.01 以降は新たに追加した「メッセージ設定」に統合しました。

3-2-3. 設定メニュー／イベント設定

「FeliSafe-LK」の各イベント毎に、機能を設定する事ができます。

Ver.6.01 より、各設定をタブではなく、一つの画面になりましたが、設定内容は同じです。



【備考】「イベント設定」と「メッセージ設定」に関して。

Ver.6.01 より、「メッセージ設定」が追加されております。設定内容は似ておりますが、それぞれ以下のようになっています。

・イベント設定

FeliSafe-LK 自身で検出したものを「イベント」としており、それら毎にポップアップ表示を行ったり、プログラムを実行するかを設定します。

イベント名の「シャットダウン待機」は FeliSafe Pro や Advanced NW board II からのシャットダウン通知を受信し、シャットダウン処理に入ったことを表すイベントです。

イベント名の「メッセージ通知」は FeliSafe Pro や Advanced NW board II からのメッセージ通知を受信したことを表すイベントです。このイベントと「メッセージ設定」とは機能が重複しています。メッセージ受信で「ポップアップ表示を行う」は「メッセージ設定」で設定することをお勧めします。

全てのメッセージ通知でプログラムを実行したい場合は「イベント設定」で、メッセージ通知毎に実行するプログラムを変える場合や、プログラムを実行しない場合は「メッセージ設定」で設定を行なってください。

・メッセージ設定

メッセージ設定は FeliSafe Pro や Advanced NW board II からのメッセージ毎にポップアップ表示を行ったり、プログラムを実行するかを設定します。

◆イベント名

設定可能なイベントは以下のイベントです。

それぞれのイベントを選択後、右側の設定を行うことで、各イベント毎に処理が可能です。

詳細な意味や対策は《3-1-7. 最終イベント表示》をご参照ください。

FeliLK 動作開始	FeliSafe-LK のサービスプログラムが動作を開始しました。
シャットダウン待機	シャットダウン通知を受信しシャットダウンの待機中です。
シャットダウン開始	シャットダウンを開始しました。
サービスプログラム停止	サービスプログラムが停止しています。
通信 OPEN 失敗	通信ポートの OPEN に失敗しました。 他のアプリケーションが同じポート番号を使用している場合などに発生します。この場合は《 3-2-4. 設定メニュー／アクセス設定 》の「ポート番号」を変更してください。 もしくは Windows のネットワークが無効になっている場合に発生することがあります。
メッセージ受信	FeliSafe Pro、Advanced NW board II からのメッセージを受信しました。
Shutdown 通知受信	FeliSafe Pro、Advanced NW board II からのシャットダウン通知を受信しました。

◆ イベントをログに記録する

「FeliSafe-LK」自身の各イベント毎に、イベントの記録の有効 / 無効を設定することができます。イベントの記録を有効にするには、「イベントを記録する」にチェックを入れてください。

◆ ポップアップ表示を行う

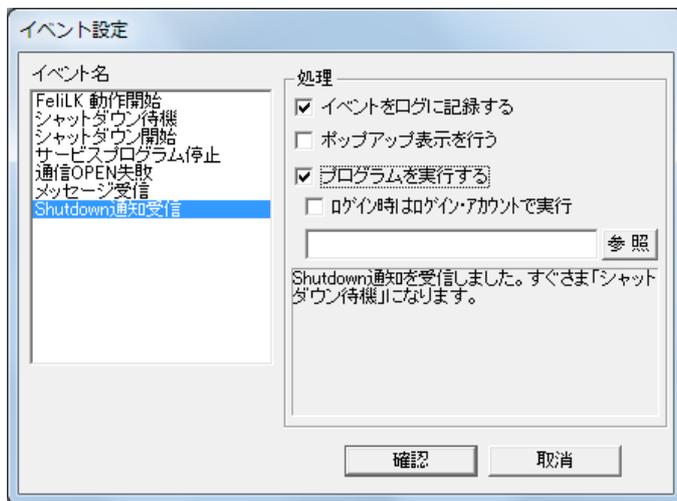
イベント一覧よりイベントを選択し、「ポップアップ表示を行う」にチェックを入れることで、そのイベントが発生した時に、自分自身の画面にポップアップが表示されます。

このポップアップ表示は「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」から送られてきたメッセージとは無関係に、FeliSafe-LK のイベントにより表示されるものです。



◆ プログラムを実行する

イベント発生時に任意のプログラムを開始するように設定できます。



「プログラムを実行する」をチェックしプログラムを指定してください。イベントが発生した時に、登録されているプログラムを実行します。「参照」ボタンによりダイアログボックスからのプログラムを選択することもできます。

「ログイン時はログイン・アカウントで実行」にチェックを入れると、ログインしている場合、そのユーザーアカウントでプログラムを実行します。これにより、メモ帳のような画面表示を伴うプログラムも実行可能です。ログインしていない場合やチェックが入っていない場合、サービスのアカウントで実行されます。

実行時に以下の環境変数が登録されています。

- LKKind 実行の発行元。「Event」か「Message」のいずれか
- LKEvent イベント名。「FeliLK 動作開始」や「シャットダウン開始」等

イベントが「メッセージ受信」時のみ、以下の環境変数も使用可能です。「メッセージ受信」以外では空白か、前回のメッセージ受信の内容となります。

- LKMsgStr メッセージテキスト。「入力電圧低下」等
- LKHostIP 送信元アドレス。「192.168.0.50」等
- LKHostNM 送信元ホスト名。「YUTAKA-PC」等
- LKHostS 送信元アプリ種類。「PRO」なら FeliSafe Pro、「NW2」なら Advanced NW board II

【注意】

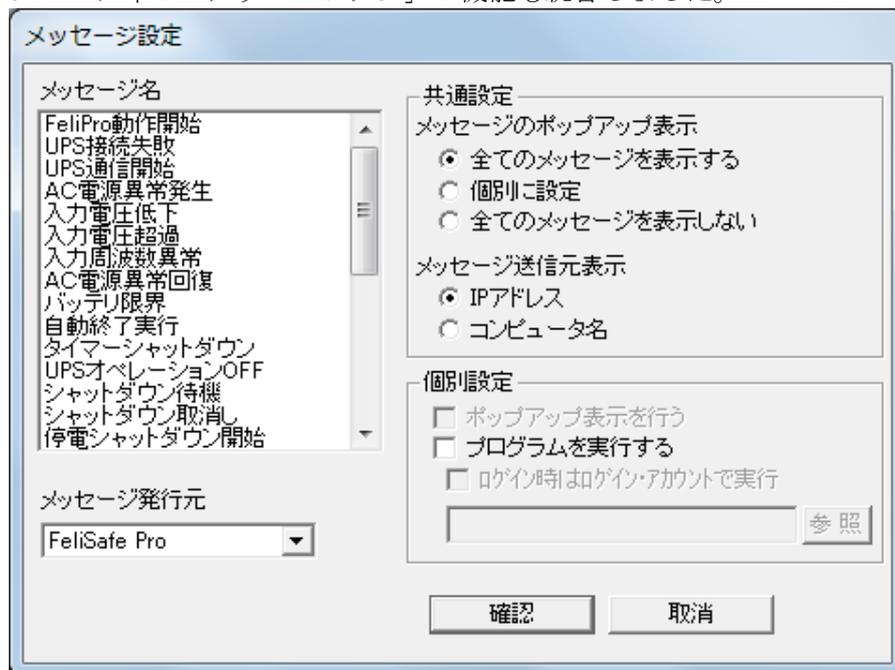
- WindowsXP では実行できるプログラム・コマンドにとくに制限はございませんが、OS にかかわらず実行するプログラム・コマンドは“FeliLK”サービスの実行アカウントで実行できるようにアクセス権を設定しておく必要があります。
- **Windows Vista** 以降の OS では、「ログイン時はログイン・アカウントで実行」にチェックが入っていないと「メモ帳」や「Word, Excle」など対話形式のプログラムは実行できません。実行確認メッセージが表示され、自動的にプログラムは起動しません。
- ログオンを行っていない状態でコマンドの実行が行われた場合には、ウィンドウの表示およびプログラムへのキー入力が行えませんが、ログインしないで実行する可能性がある場合は、対話形式のプログラムは指定しないようにしてください。

3-2-4. 設定メニュー／メッセージ設定

連動元からのメッセージ通知毎に表示の有無やコマンドの実行などの設定が行えます。

この機能は FeliSafe-LK Ver.6.01 以降で追加しました。

プロパティの「メッセージタブ」の機能も統合しました。



「FeliSafe-LK」の各イベント毎に、機能を設定することができます。

なお、FeliSafe Pro と Advanced NW board II とではメッセージ通知の内容が異なります。

例えば FeliSafe Pro では停電が発生するとメッセージは「AC 電源異常発生」となり、内部で使用しているメッセージ番号は 14 番となりますが、Advanced NW board II では停電が発生するとメッセージは「AC 停電発生」となり、メッセージ番号は 4 番となります。

FeliSafe Pro 用と Advanced NW board II 用の両方で FeliSafe-LK をインストールした場合、いずれか一方のメッセージ通知しか受け付けられませんので、「メッセージ設定」の「メッセージ発行元」でいずれかを選択します。

◆メッセージ名

FeliSafe Pro、Advanced NW board II から通知された「メッセージ名」です。

FeliSafe Pro 側では「イベント設定」のイベント名が該当します。

Advanced NW board II 側では「イベント設定」のイベント項目が該当します。

詳しくは《4-1. FeliSafe Pro の設定と動作確認》または《5-1. FeliSafe Pro の設定と動作確認》をご参照ください。メッセージ名を選択し、「個別設定」を設定します。

◆メッセージ発行元

FeliSafe Pro 用と Advanced NW board II 用の両方で FeliSafe-LK をインストールした場合、どちらのメッセージ通知を処理するかを選択します。

あくまでメッセージ通知の選択で有り、シャットダウン通知はこの設定が一致していなくても実行します。

「共通設定」の項目はこの選択にかかわらず、処理されます。

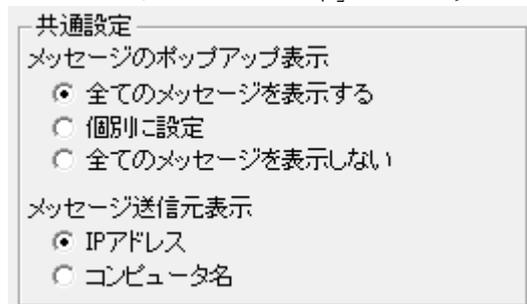
「個別設定」は送信元と「メッセージ発行元」が一致しないと処理しません。例えば「メッセージ発行元」を「FeliSafe Pro」に設定したとします。「AC 電源異常発生」のメッセージで「個別設定」の「プログラムを実行する」にチェックを入れ、プログラムを指定したとします。ここに Advanced NW board II から「AC

停電発生」や FeliSafe Pro の「AC 電源異常発生」のメッセージ番号(14 番)と同じメッセージ番号の「スケジュールシャットダウン」が通知されても発行元が異なるため、処理しません。

◆共通設定

全てのメッセージに共通の設定です。

Ver.6.0 では「プロパティ」の「メッセージ」にあった項目です。



◆共通設定/メッセージのポップアップ表示

メッセージをポップアップ表示するかどうか、個別にするかを指定します。

- 全てのメッセージを表示する
- 個別に設定

メッセージ毎に個別に表示するかどうかを設定できます。設定は「個別設定/ポップアップ表示を行う」で設定します。

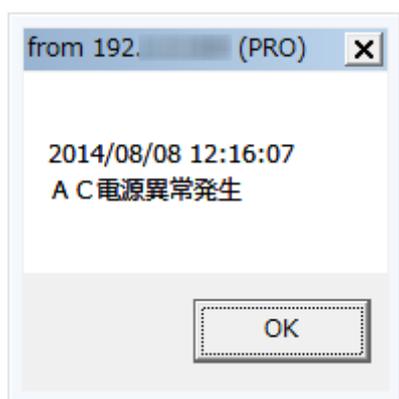
- 全てのメッセージを表示しない

◆共通設定/メッセージ送信元表示

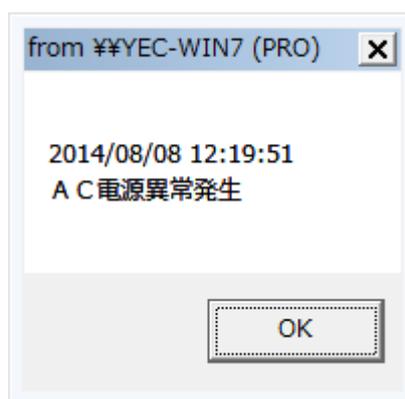
ポップアップメッセージのタイトル部分に表示する送信元の表示方法を設定します。

- IP アドレス
- コンピュータ名

Windows で登録されているコンピュータ名を表示します。



IP アドレスでの表示例

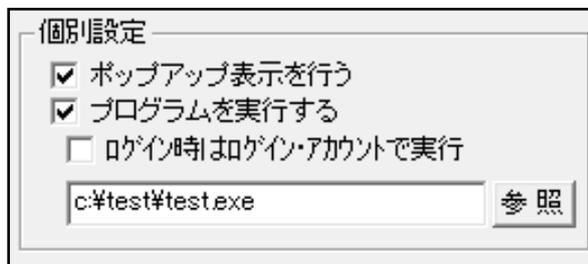


コンピュータ名での表示例

◆個別設定

メッセージ毎に個別に行う設定です。

「メッセージ発行元」で選択した送信元と、実際に送信してきた送信元「Felisafe Pro や Advanced NW board II」が一致しないと処理しません。



◆個別設定/ポップアップ表示を行う

「共通設定/メッセージのポップアップ表示」が「個別に設定」の場合に有効になります。
ポップアップ表示をメッセージ毎に個別に設定できます。

◆個別設定/プログラムを実行する

「プログラムを実行する」をチェックしプログラムを指定してください。設定したメッセージを受信すると、登録されているプログラムを実行します。「参照」ボタンによりダイアログボックスからのプログラムを選択することもできます。

「ログイン時はログイン・アカウントで実行」にチェックを入れると、ログインしている場合、そのユーザーアカウントでプログラムを実行します。これにより、メモ帳のような画面表示を伴うプログラムも実行可能です。ログインしていない場合やチェックが入っていない場合、サービスのアカウントで実行されます。

実行時に以下の環境変数が登録されています。

- ・ LKKind 実行の発行元。「Event」か「Message」のいずれか
- ・ LKEvent イベント名。常に「メッセージ受信」となります
- ・ LKMsgStr メッセージテキスト。「入力電圧低下」等
- ・ LKHostIP 送信元アドレス。「192.168.0.50」等
- ・ LKHostNM 送信元ホスト名。「YUTAKA-PC」等
- ・ LKHostS 送信元アプリ種類。「PRO」なら FeliSafe Pro、「NW2」なら Advanced NW board II

【注意】

- ・ WindowsXP では実行できるプログラム・コマンドにとくに制限はございませんが、OS にかかわらず実行するプログラム・コマンドは“FeliLK”サービスの実行アカウントで実行できるようにアクセス権を設定しておく必要があります。
- ・ Windows Vista 以降の OS では、「ログイン時はログイン・アカウントで実行」にチェックが入っていないと「メモ帳」や「Word,Excle」など対話形式のプログラムは実行できません。実行確認メッセージが表示され、自動的にプログラムは起動しません。
- ・ ログオンを行っていない状態でコマンドの実行が行われた場合には、ウィンドウの表示およびプログラムへのキー入力が行えませんので、ログインしないで実行する可能性がある場合は、対話形式のプログラムは指定しないようにしてください。

【備考】

この項目は《3-2-3. 設定メニュー/イベント設定》の「メッセージ受信」イベントと機能がほとんど同じです。

イベント「メッセージ受信」で「ポップアップ表示を行う」を設定にし、さらに「メッセージ設定」でもメッセージのポップアップ表示を有効にすると、同じメッセージでよく似た 2 つのメッセージのポップアップ表示が行われます。どちらか一方のみを有効にすることをお勧めします。

イベント設定で「プログラムを実行する」を有効にして、プログラムを登録し、さらに「メッセージ設定」の「個別設定/プログラムを実行する」も有効にして、プログラムを登録すると、該当メッセージを受信す

ると先に「イベント設定」で登録したプログラムを起動し、その後「メッセージ設定」で登録したプログラムを起動します。両方ともプログラムの起動を行うのみで、終了待ちは行っておりません。もし、同じプログラムを登録している場合、同じプログラムがほぼ同時に動作することになりますので、ご注意ください。

3-2-5. 設定メニュー／アクセス設定

メイン画面上の  アイコンの実行または、「設定」メニューの「アクセス設定」により、「FeliSafe Pro」および「Advanced NW board II」から「FeliSafe-LK」へアクセスできるように設定します。設定した内容と「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」の設定が一致しない場合は、「FeliSafe-LK」は通知を受け付けません。



IPアドレス	パスワード	シャットダウン	メッセージ	チャレンジレスポンス認証のみ
受信先1:	*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受信先2:	*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受信先3:	*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受信先4:	*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ポート番号:	38998			

◆IP アドレス（受信先 1～4）

「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」の IP アドレス（IPv4）を設定してください。設定以外の IP アドレスからの通知は無視します。

◆パスワード（受信先 1～4）

「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」に設定したパスワード（31 文字まで）を設定してください。英数記号が使用可能です。空白では無効となります。

何文字を入力しても画面には”*****”が表示されるようになっています。また、空白 8 文字は未入力として扱いますので、指定しないでください。

パスワードが一致しない場合は通知は無視します。

◆シャットダウン（受信先 1～4）

シャットダウン通知を受信、処理するかを設定します。

チェックを外すと「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」がシャットダウン通知を送信してきても無視します。

◆メッセージ（受信先 1～4）

メッセージ通知を受信、処理するかを設定します。

チェックを外すと「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」がメッセージ通知を送信してきても無視します。

◆チャレンジレスポンス認証のみ（受信先 1～4）

Ver.6.01 で追加しました。

チェックを入れると認証方式として「チャレンジレスポンス認証」のみ受け付けます。チェックを外すと、「パスワード認証」、「チャレンジレスポンス認証」のいずれも受け付けます。

Advanced NW board II は常に「チャレンジレスポンス認証」を使用します。

FeliSafe Pro でチャレンジレスポンス認証を使用する場合は FeliSafe Pro の Ver.7.02 以降をご使用ください。FeliSafe Pro の Ver.7.02 未満の場合は、このチェックは外してください。

◆ポート番号

「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」との通信を行うためのポート番号です。デフォルトは 38998 ですが、他のアプリケーションと重なる場合は変更してください。範囲は 1～65535 です。0 を入れるとデフォルトの 38998 に戻ります。「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」側もポート番号を一致させてください。

※ 「FeliSafe Pro、Advanced NW board II」と「FeliSafe-LK」の間の通信は、暗号化しています。
「FeliSafe Pro」側の設定に関しては「第4章 FeliSafe Pro の設定と動作確認」をご参照ください。
「Advanced NW board II」側の設定に関しては「第5章 Advanced NW board II の設定と動作確認」をご参照
ください。

3-2-6. 設定メニュー／pingポート開放

Advanced NW board II では PC がシャットダウンしたかの確認に ping(ICMP ECHO)を使用します。

Windows ではデフォルトでは ping の受信をファイアウォールで禁止しています。

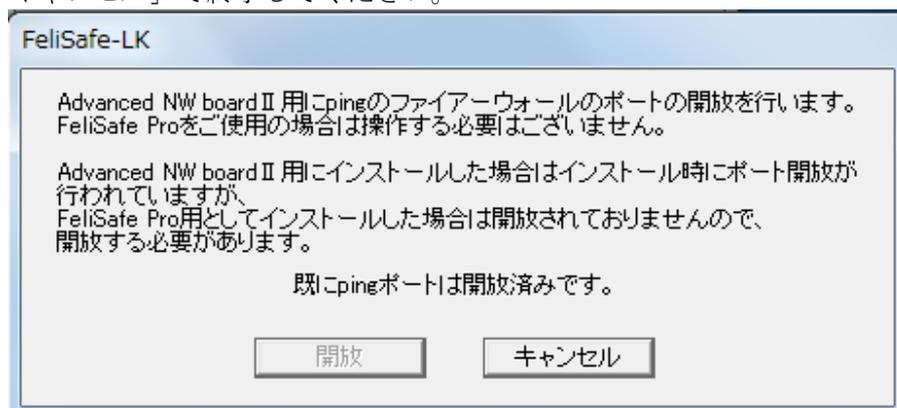
FeliSafe Pro 用にインストールした場合は操作する必要はありません。

Advanced NW board II 用にインストールした場合、通常インストール時に ping ポートの開放が行われています。しかし、FeliSafe Pro 用にインストールしたものを Advanced NW board II 用に使用したい場合、ping ポートの開放が必要になります。

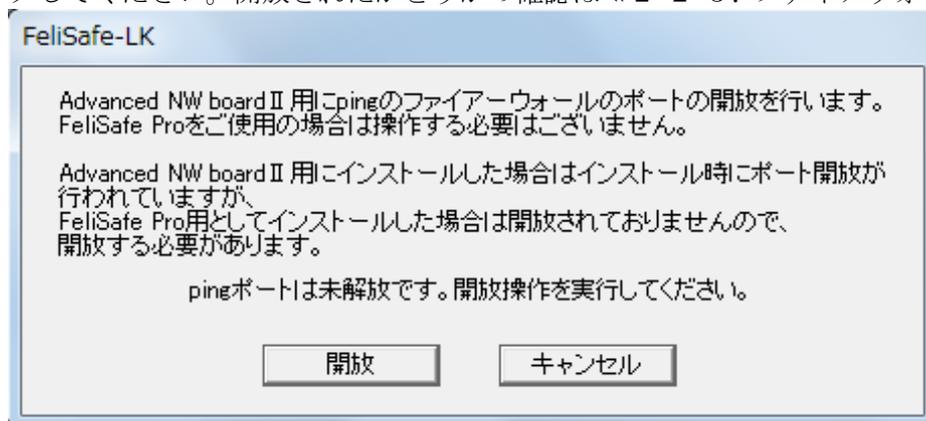
この設定では ping ポートの開放を行います。この機能は Ver.6.01 以降で追加されました。

「設定」メニューの「ping ポート開放」をクリックすると下記の画面が表示されます。

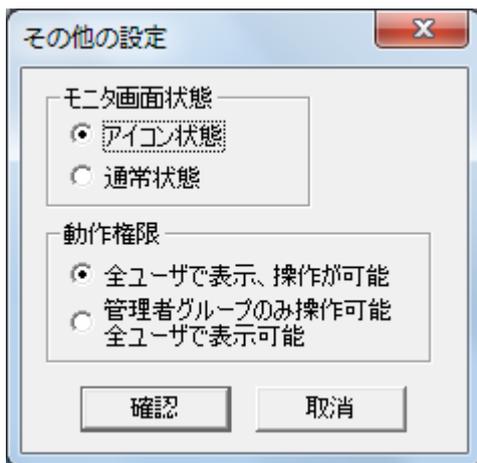
下記のように「既に ping ポートは開放済みです」と表示されている場合は操作する必要はありませんので、「キャンセル」で終了してください。



下記のように「ping ポートは未解放です。開放操作を実行してください」と表示された場合は「開放」をクリックしてください。開放されたかどうかの確認は《2-2-5. ファイアウォールの確認》をご参照ください。



3-2-7. 設定メニュー／その他の設定



◆モニタ画面状態

モニタ画面を表示した際の状態を設定します。

- ・アイコン状態(デフォルト)

モニタプログラムを起動するとタスクトレイにアイコン状態で格納されます。

このアイコンをダブルクリックするとモニタ画面が表示されます。

- ・通常状態

モニタプログラムを起動すると、最初からモニタ画面が表示されます。

◆動作権限

Ver.6.01 以降、FeliSafe-LK モニタプログラムは管理者権限でなくても起動可能になりました。そのため、従来であれば管理者権限でなければ行えなかった設定操作が一般ユーザでも可能になります。それを制限できるようにします。

- ・全ユーザで表示、操作が可能

全てのユーザ権限で表示や設定操作が可能です。

- ・全ユーザで表示のみ可能、操作は管理者グループのみ(デフォルト)

管理者権限でなければ設定操作は行えませんが、表示は全ユーザで可能です。

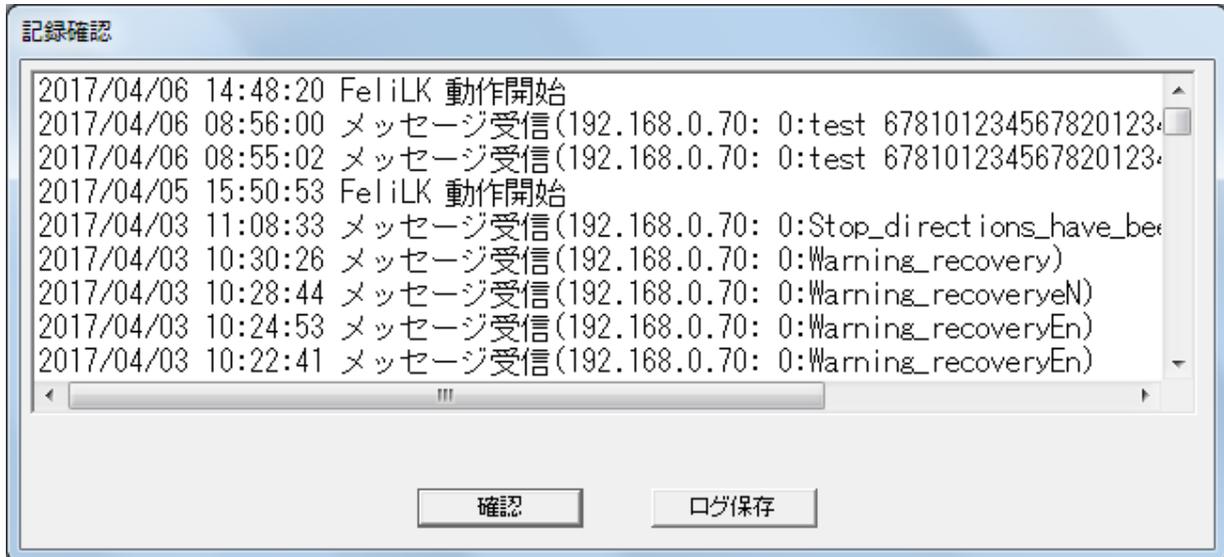
3-2-8. 記録確認



メイン画面上のアイコンの実行または、「記録」メニューの「記録確認」により、「FeliSafe-LK」のイベント記録の内容を表示します。

記録をファイルに保存したい場合、「ログ保存」ボタンをクリックします。

詳細な意味は《3-1-7. 最終イベント表示》をご参照ください。



※イベントの記録内容については、「プロパティ」メニュー、「イベント設定」メニューにて設定する事ができます。

第4章 FeliSafe Pro の設定

マスターとなる FeliSafe Pro の設定と動作確認の方法について説明します。

FeliSafe Pro の詳細な設定は《FeliSafe Pro ユーザーズマニュアル》をご参照ください。

4-1. FeliSafe Pro の設定と動作確認

FeliSafe Pro では「シャットダウン」メニューの「連動通知設定」で行います。

通知先の IP アドレスとパスワードは FeliSafe-LK の受信先 IP アドレス、パスワードに一致させてください。

【注意】

停電によるシャットダウンを行う場合、中継する Hub も UPS によりバックアップしてください。

	IPアドレス	パスワード	シャットダウン	メッセージ	シャットダウン テスト
通知先1		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先2		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先3		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先4		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先5		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先6		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先7		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト
通知先8		*****	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	テスト

ポート番号

◆各選択項目の内容

通知先は8カ所まで指定できます。

<通知先 IP アドレス>

通知先の IP アドレスを指定します。

IP アドレスで指定してください。ドメイン名等は使用できません。

<通知先 パスワード>

通知先のパスワードを指定します。1文字～31文字までの英数記号が使用可能です。

何文字を入力しても画面には”*****”が表示されるようになっています。

また、空白8文字は未入力として扱いますので、指定しないでください。

<通知先 シャットダウン>

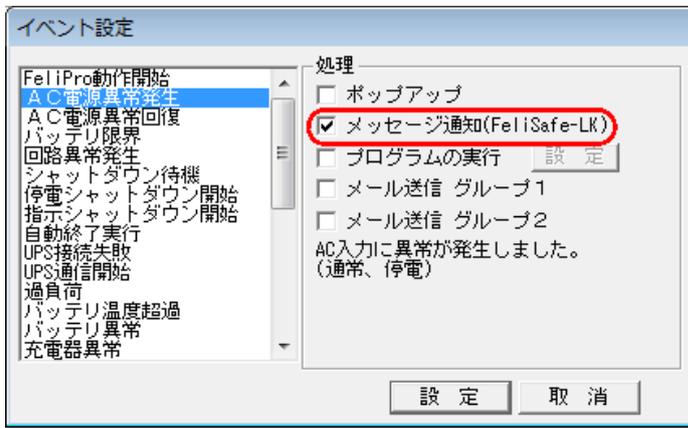
シャットダウン通知を送るかを設定します。

<通知先 メッセージ>

メッセージ通知を送るかを設定します。

実際に送るメッセージは「イベント設定」で指定します。

下図では「AC電源異常発生」でメッセージ通知を行う設定をしています。必要に応じて、他のイベントも設定してください。



<通知先 シャットダウンテスト>

実際にシャットダウン通知を発行し、FeliSafe-LK が受信できるかの確認を行います。

メッセージに関しては停電を発生させる等で確認できます。

「テスト」ボタンをクリックすると下記画面が表示されます。「通知開始」をクリックすると実際にシャットダウン通知を発行します。その結果が「実行結果」に表示されます。



エラーが発生したときの詳細に関しては「6-1. FeliSafe-LK のエラーコード一覧」をご参照ください。

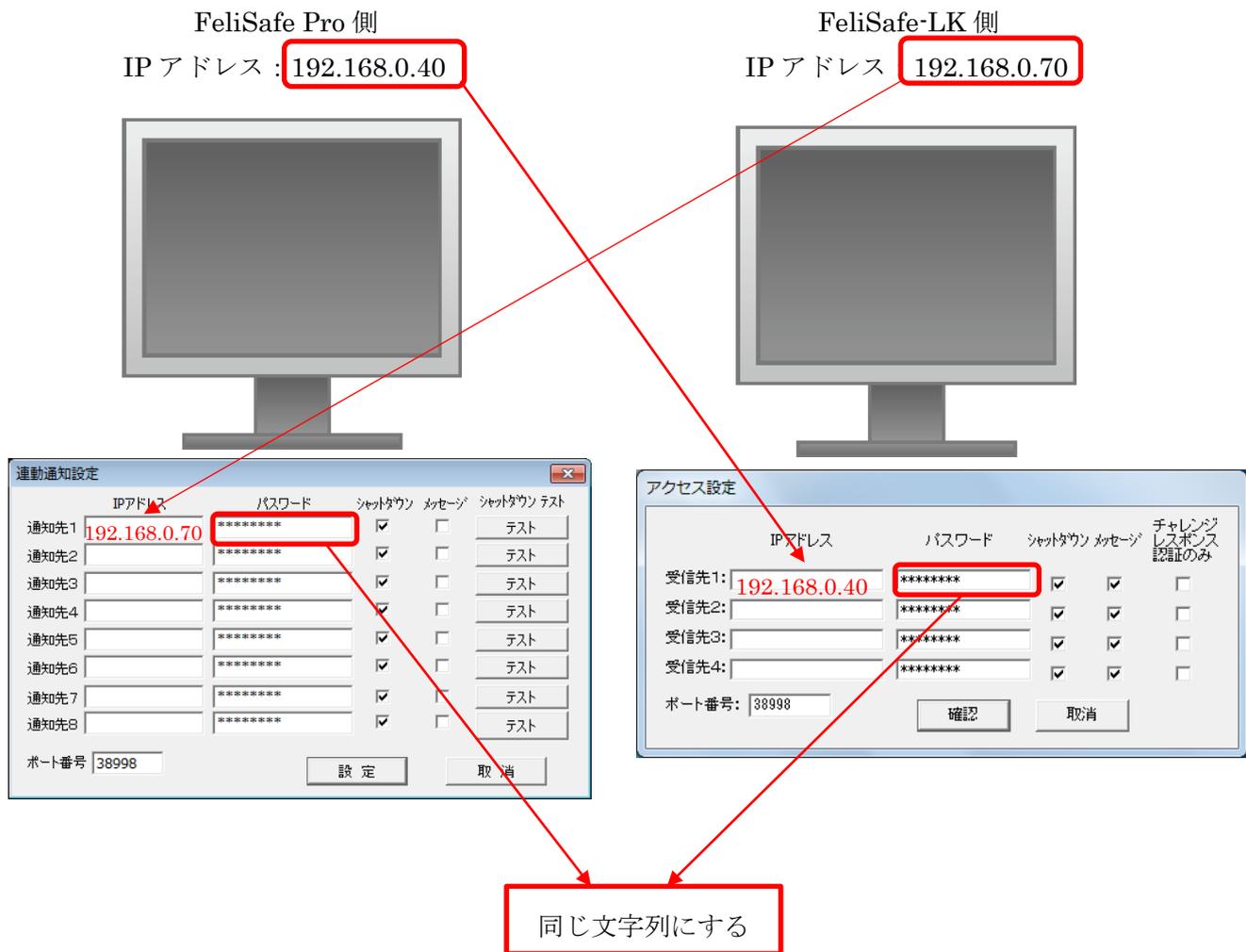
<ポート番号>

FeliSafe-LK との通信を行うためのポート番号です。デフォルトは 38998 ですが、他のアプリケーションと重なる場合は変更してください。範囲は 1~65535 です。0 を入れるとデフォルトの 38998 に戻ります。

FeliSafe-LK 側もポート番号を一致させてください。

4-2. FeliSafe Pro での設定例

FeliSafe Pro と FeliSafe-LK の設定例です。



第5章 Advanced NW board II の設定

マスターとなる Advanced NW board II の設定と動作確認の方法について説明します。

Advanced NW board II ではイベントによるメッセージ通知とスクリプトによるシャットダウン通知、メッセージ通知とに分かれます。

Advanced NW board II の詳細な設定は《Advanced NW board II ユーザーズマニュアル》をご参照ください。

5-1. イベントによるメッセージ通知の設定と動作確認

「停電発生」等のイベントによるメッセージ通知は「ネットワーク設定」の「FeliSafe-LK Message 設定」と「イベント設定」で設定します。

「ネットワーク設定」の「FeliSafe-LK Message 設定」では送信先、パスワードの設定、「イベント設定」では、どのイベントをメッセージとして送信するかを設定します。

【注意】

停電によるシャットダウンを行う場合、中継する Hub も UPS によりバックアップしてください。

5-1-1. ネットワーク設定

送信先	IPアドレス	パスワード
送信先1		
送信先2		
送信先3		
送信先4		
ポート番号	38998	
送信時ホスト名	Advanced NW board II	

送信先のIPアドレス、パスワードを設定し、イベント設定の「LKへ通知」にチェックを入れることで FeliSafe-LKをインストールしたWindowsにイベント発行時にポップアップ表示することができます。FeliSafe-LK側のアクセス設定に、このボードのIPアドレスと、上記で設定したパスワードを登録して下さい。

LKメッセージ送信テスト
LKメッセージ送信テストではメッセージ番号として2番(正常動作中)、メッセージテキストは「UPS Message test.」を送信します。

「ネットワーク設定」の「FeliSafe-LK Message 設定」では送信先の IP アドレスやパスワードを設定します。送信先の IP アドレスとパスワードは FeliSafe-LK の受信先 IP アドレス、パスワードに一致させてください。

◆各選択項目の内容

送信先は 4 カ所まで指定できます。

<送信先 IP アドレス>

送信先の IP アドレスを指定します。

IP アドレスで指定してください。ドメイン名等は使用できません。

<送信先 パスワード>

送信先のパスワードを指定します。1 文字～31 文字までの英数記号が使用可能です。

何文字を入力しても画面には”*****”が表示されるようになっています。

また、空白 8 文字は未入力として扱いますので、指定しないでください。

<ポート番号>

FeliSafe-LK との通信を行うためのポート番号です。デフォルトは 38998 ですが、他のアプリケーションと

重なる場合は変更してください。範囲は1~65535です。0を入れるとデフォルトの38998に戻ります。

FeliSafe-LK 側もポート番号を一致させてください。

<送信時ホスト名>

FeliSafe-LK で表示する際の送信元の表示となります。

<LK メッセージ送信テスト>

実際にメッセージ通知を行います。

メッセージ番号として2番(正常動作中)、メッセージテキストは「UPS Message test.」を送信します。

5-1-2. イベント設定

No	イベント項目	スクリプトNo.																LKへ通知	E-Mail通知			
		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	チェック反転	1	2	3	4
1	Advanced NW board II 動作開始	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>															
2	正常動作中	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
3	AC電源復旧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																

イベント設定の「LK へ通知」の列にチェックを入れると、該当するイベントがメッセージとして送信されます。

その際に左端の「No」が「メッセージ番号」、「イベント項目」の名称が「メッセージ名」となります。

5-2. スクリプト設定(シャットダウン通知、メッセージ通知)

停電等で FeliSafe-LK にシャットダウン通知を送信したい場合、またはイベントにより、任意の形式でメッセージ通知をしたい場合、「スクリプト設定」で設定を行います。

<スクリプト1>

FeliSafe 接続方式

チャレンジャレスポンス認証を使用しない

パスワード認証を使用しない

telnetでIPアドレスを指定しない

23 telnet時のポート番号

接続前にpingで動作確認

ホスト監視

停電シャットダウン開始イベントで実行

IPアドレス	
アドレステスト	IPアドレステスト
コメント	
user1	
pass1	●●●●●●
user2	
pass2	●●●●●●
コマンドラインオプション指定	

スクリプト制御

実行遅延時間 (0~65535秒)	0秒
リトライ回数 (0~10回)	0回
リトライ後の待機時間 (0~65535秒)	0秒
スクリプト単独実行	<input type="checkbox"/>

スクリプト編集

編集方式へ

Windows (FeliSafe-LK)

テスト

◆各選択項目の内容

<接続方式>

接続方式には「FeliSafe」か「NoLogin」を選択します。

「FeliSafe」を選択した場合、下記の「IP アドレス」の項に IP アドレスを記入する必要があります。

「NoLogin」を選択した場合、下記の「IP アドレス」の項に IP アドレスを記入する必要はありませんが、スクリプト内で IP アドレスを指定してください。

<IP アドレス>

送信先の IP アドレスを指定します。

スクリプトを編集してスクリプト内に直接 IP アドレスを指定することも出来ます。

<pass1>

送信先の FeliSafe-LK のパスワードと同じパスワードを設定します。

スクリプトを編集してスクリプト内に直接パスワードを指定することも出来ます。

<スクリプト編集/選択方式>

シャットダウンを行いたい場合は「Windows(FeliSafe-LK)」を選択します。

送信先を変えたい、メッセージを通知したい、という場合は一旦「Windows(FeliSafe-LK)」を選択し、編集方式に画面を切り替えます。

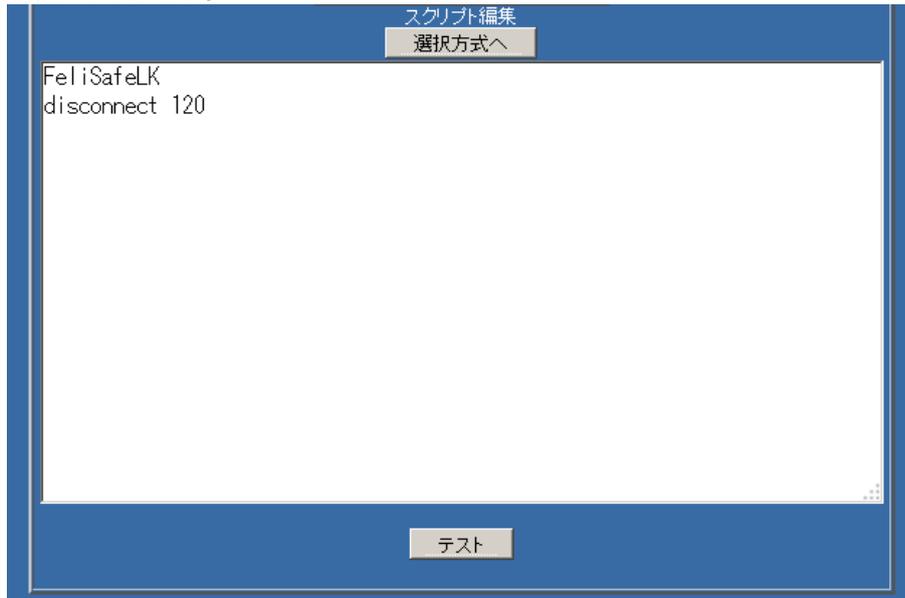
<テスト>

スクリプトが正しく動くか、実際にスクリプトを実行します。

<スクリプト編集/編集方式>

スクリプトの内容を編集したい場合、「編集方式へ」のボタンで下記画面に切り替わります。

下記画面は「スクリプト編集/選択方式」で「Windows(FeliSafe-LK)」を選択し、編集方式に画面を切り替えた際の内容です。



編集領域内の「FeliSafeLK」には以下のオプションがあります。

FelisafeLK [<-s | -t? | -m? | -t? -m?> [-i?] [-w?] [-p?] [-h?]

オプションに引数がある場合、続けて記述してください。

引数が文字列でスペースを含む場合、「"」で囲んでください。

[...] は省略可能な項目です。

<... | ...> はいずれかを選択します。

- s シャットダウン通知(デフォルト)
- m? イベント設定画面の No(イベント番号)。-t が無ければイベント項目名が送信テキストとなります。例えば"-m4"とすると、イベント設定画面の No.4 は「AC 停電発生」ですので、この文字列が送信テキストとなります。
FeliSafe-LK 側ではメッセージ番号として扱われます。
0 やイベント設定 No.以外は 1(Advanced NW board II 動作開始)として扱います。
- t? 送信テキスト。-m を指定しない場合、イベント設定 No.はなしとして送信されます。
-m と併用した場合でも、イベント項目名では無く、任意のテキストを送信できます。
最大 127byte まで指定可能で、それ以上は切り捨てられます。
- s と -m, -t は同時に指定した場合、-s(シャットダウン通知)が優先されます。
- s と -m と -t のいずれの指定も無い場合、-s(シャットダウン通知)とします。
- i? IP アドレスを"-i192.168.0.10"の様に指定します。
省略した場合、スクリプト設定の「IP アドレス」が適用されます。
- w? パスワードを指定します。省略時はスクリプト設定の「pass1」が適用されます。
- p? ネットワークポート番号を指定します。
省略した場合は「ネットワーク設定」の「FeliSafe-LK Message 設定」の「ポート番号」が使用されます。
- h? 送信元ホスト名を指定します。最大 63byte まで指定可能で、それ以上は切り捨てられま

す。

省略した場合は「ネットワーク設定」の「FeliSafe-LK Message 設定」の「送信時ホスト名」が使用されます。

【例】

以下の例で"-i?"、"-w?"が無い場合はスクリプト設定の「IP アドレス」と「pass1」が適用されます。

FelisafeLK スクリプト設定の「IP アドレス」、「pass1」でシャットダウン通知を発行します。

FelisafeLK -s 同上。

FelisafeLK -m15 イベント設定 No.(FeliSafe-LK ではメッセージ番号)は 15、
-t が省略されていますので送信テキストはイベント番号 15 の「UPS 出力開始」
が送信されます。

FelisafeLK -m15 -t"特殊処理 開始"

イベント設定 No.(FeliSafe-LK ではメッセージ番号)は 15、送信テキストは"特殊
処理 開始"が送信されます。文字列にスペースを含んでいるので"..."で囲みます。

FelisafeLK -s -w\$pass2

スクリプト設定の「pass2」をパスワードとし、シャットダウン通知を発行します。

FelisafeLK -s -i192.168.0.50

IP アドレス 192.168.0.50 に対してシャットダウン通知を発行します。

編集領域内の「disconnect 120」は ping に反応が無くなるまで待機するためのコマンドです。シャットダウンの場合は ping の反応がなくなることで、PC がほぼシャットダウンを終えている、と判断するために使用します。

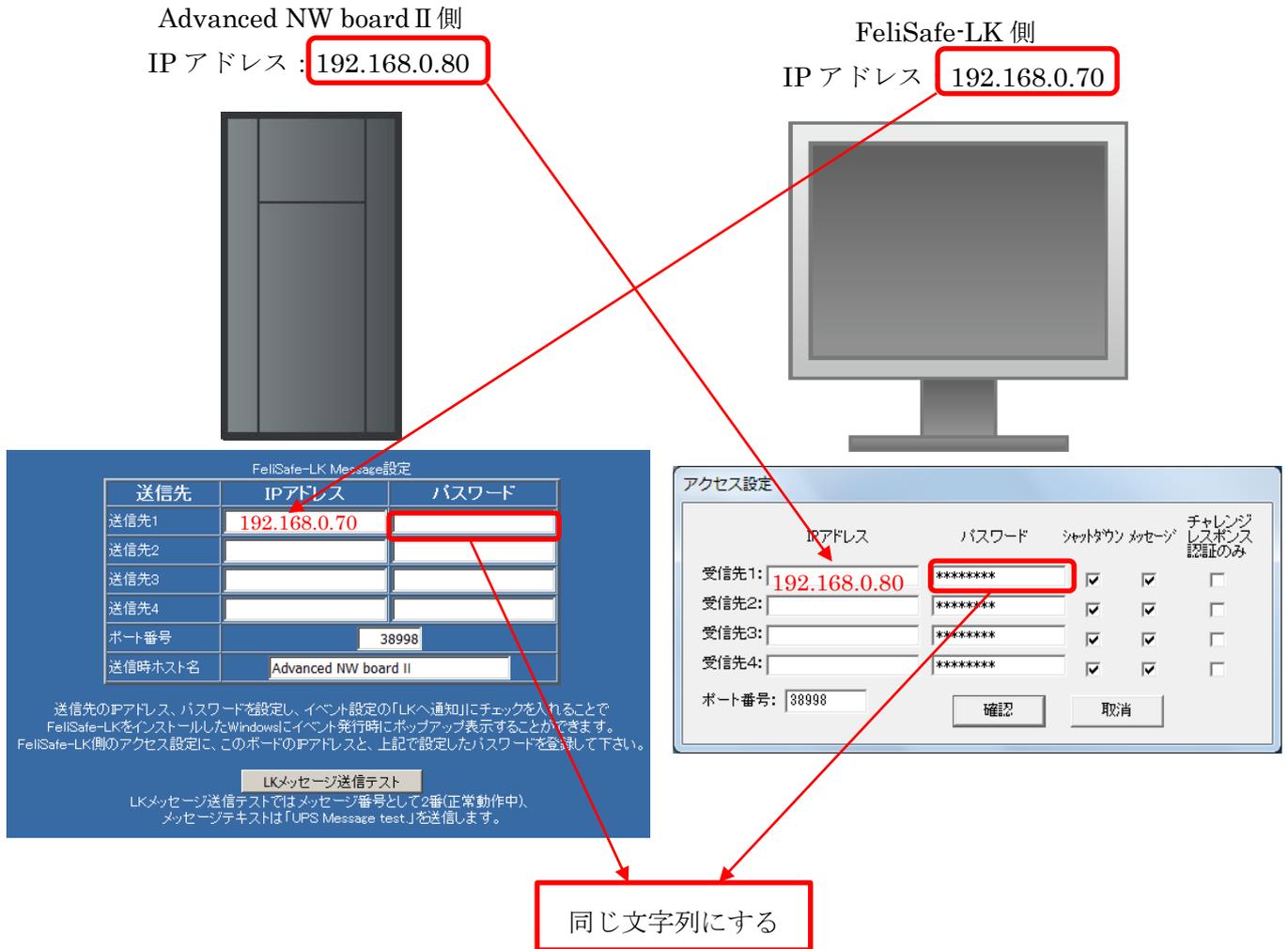
メッセージ通知に使用する場合は削除してください。

その他、スクリプト内で使用可能なコマンド、変数、文字列の規則に関しては《Advanced NW board II ユーザーズマニュアル》をご参照ください。

5-3. Advanced NW board II での設定例

5-3-1. メッセージ通知例

Advanced NW board II から FeliSafe-LK へのメッセージ通知を行う際の設定例です。



5-3-2. スクリプト設定(シャットダウン通知、メッセージ通知)例

Advanced NW board II から FeliSafe-LK へのスクリプトの設定例です。ここではシャットダウン通知を行います。イベントによるメッセージ通知を行う場合は「5-2. スクリプト設定(シャットダウン通知、メッセージ通知)」をご参照ください。

Advanced NW board II 側
IP アドレス: 192.168.0.80

FeliSafe-LK 側
IP アドレス: 192.168.0.70

<スクリプト1>
FeliSafe 接続方式
 チャレンジレスポンス認証を使用しない
 パスワード認証を使用しない
 telnetでバイナリを指定しない
23 telnet時のポート番号
 接続前にpingで動作確認
 ホスト監視
 停電シャットダウン開始イベントで実行

IPアドレス: 192.168.0.70
アドレステスト: IPアドレステスト
コメント:
user1:
pass1: ●●●●●●
user2:
pass2: ●●●●●●
コマンドラインオプション指定:

スクリプト制御
実行遅延時間 (0~65535秒): 0秒
リトライ回数 (0~10回): 0回
リトライ後の待機時間 (0~65535秒): 0秒
スクリプト単独実行:

スクリプト編集
編集方式へ
Windows (FeliSafe-LK)
テスト

アクセス設定
IPアドレス パスワード シャットダウン メッセージ チャレンジレスポンス認証のみ
受信先1: 192.168.0.80 ●●●●●●
受信先2: ●●●●●●
受信先3: ●●●●●●
受信先4: ●●●●●●
ポート番号: 38998 確認 取消

同じ文字列にする

第6章 その他

6-1. FeliSafe-LK のエラーコード一覧

FeliSafe Pro の連動通知のシャットダウンテストや FeliSafe 情報ログのエラーコードと対応方法です。

ErrorCode	FeliSafe Pro のテスト時のメッセージ	内容、対応方法
なし	正常終了	正常に通知し、応答がありました。
01	指定 IP に PC が存在しない	IP アドレスが正しいか確認してください
02	システムエラー	本来発生しません
11	ネットワーク初期化エラー	本来発生しません
12	ネットワーク初期化エラー	本来発生しません
21	ネットワーク初期化エラー	本来発生しません
22	FeliSafe-LK が動作していない ポート番号が一致していない	FeliSafe-LK が動作していないか、ポート番号が一致していません
31	FeliSafe-LK が動作していない	エラー22 になりますので通常は発生しません。
32	FeliSafe-LK 側のアクセス設定が無効	FeliSafe-LK のアクセス設定と一致していません。 LK 側の受信先 IP アドレスに送信側 (FeliSafe Pro) の IP アドレスが登録されていない、またはパスワードが不一致な場合です。

Advanced NW board II のスクリプトログに記録される FeliSafe-LK のエラーコードの一覧です。

エラーコード	エラーの詳細
なし	正常に通知し、応答がありました。
01	IP アドレスが正しいか確認してください
02	システムエラー。通常発生しません
11,12	FeliSafe-LK 通信プログラムの起動時の引数エラーが発生しました。通常発生しません。
21,22,23	FeliSafe-LK が動作していないか、ポート番号が不一致、または FeliSafe-LK とのネットワーク通信が確立出来ませんでした。 主に同一ネットワークセグメント内でターゲットが存在しない等でこのエラーになります。ファイアウォール機能が Windows の標準の物は FeliSafe-LK インストール時にポート開放を行っていますが、それ以外のもが使用されている場合、マニュアルでポート開放しない場合もこのエラーとなります。 別セグメントが異なる場合、50 になることがあります。別セグメントでもルータ、ゲートウェイの挙動によっては 50 ではなく 23 になることがあります。
32,33	FeliSafe-LK へのネットワーク通信処理で書き込みのタイムアウトが発生しました。 通信中に物理的に回線が切断されるか、ターゲットが停止する等があります。
34,35	FeliSafe-LK のアクセス設定と一致していません。 LK 側の受信先 IP アドレスに送信側 (Advanced NW board II) の IP アドレスが登録され

	<p>ていない、またはパスワードが不一致な場合です。</p> <p>このエラーが発生した場合は FeliSafe-LK に登録している IP やパスワードが一致しているかを確認してください。</p> <p>FeliSafe-LK に対して送信は行えましたが、上記の設定が一致していないと FeliSafe-LK はそれ以降の処理を行いませんので、結果的に応答が無かった場合にこのエラーとなります。</p>
50	<p>FeliSafe-LK とのネットワーク通信時にタイムアウト(10 秒)エラーになりました。</p> <p>主に、別ネットワークセグメントでターゲットが存在しない等でエラーになります。同一セグメント内なら 23 になります。</p> <p>ただし、ルータ、ゲートウェイの挙動によっては別セグメントでも 23 になることがあります。エラーコード 23 もご参照ください。</p>

6-2. ファイアーウォールについて

FeliSafe-LK ではネットワーク通信を行うため、ファイアーウォールの開放を行う必要があります。Windows 標準のファイアーウォールに対して、インストール時にて受信ポートの開放を設定していますので、Windows 標準のファイアーウォールをご使用の場合は特に設定する必要はございません。

その他のファイアーウォールソフトをご使用の場合は FeliSafe-LK のインストーラでは受信ポートの開放等が行えませんが、ファイアーウォールソフトにて許可プログラムの追加やポートの開放等を行ってください。

許可プログラムを設定する場合、FeliSafe-LK、デフォルトのままインストールしますと下記のパス

C:\Program Files (x86)\FeliLK\FeliLkSvc.exe (x64 の場合)

C:\Program Files\FeliLK\FeliLkSvc.exe (x86 の場合)

を許可アプリケーションとして登録してください。

ポートを開放する場合は《 3-2-4. 設定メニュー／アクセス設定 》で指定したポート番号(デフォルトは 38998)の受信許可を行ってください。

設定の仕方は、ご使用のファイアーウォールソフトのマニュアル等をご確認ください。

これらが行われていませんと、FeliSafe-LK は FeliSafe Pro や Advanced NW board II からの通知を受信できません。

Advanced NW board II ではさらに ping での状態確認を行います。

Advanced NW board II 用にインストールした場合、Windows 標準のファイアーウォールに対して、インストール時にて受信ポートの開放を設定していますので、Windows 標準のファイアーウォールをご使用の場合は特に設定する必要はございません。

ファイアーウォールソフトやウイルス対策ソフトをご使用の場合は手動で ping ポートの開放や例外に登録してください。

ping は "ICMP エコー要求" や "ICMP ECHO" 等で表現されることもあります。

- 本取扱説明書に記載の会社名・製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- 記載されている製品の内容・仕様等は予告なく変更する場合があります。

* 製品、オプションのUPS運用監視ソフト、専用アクセサリに関する弊社お問合せ先 *

- | | | |
|------------|-------------------------------|------------------|
| ・UPS営業グループ | 東京都中央区日本橋兜町14-9
(ニチコン東京ビル) | TEL 03-3666-7956 |
| ・西日本営業所 | 京都市中京区烏丸通御池上る
(ニチコン本社ビル) | TEL 075-241-2630 |

* 製品の取り扱い、故障やメンテナンスに関する弊社お問合せ先 *

- | | | |
|------------------------|------------------|------------------|
| ・秩父技術センター
フィールドサービス | 埼玉県秩父郡皆野町皆野 1632 | TEL 0494-62-5973 |
|------------------------|------------------|------------------|

- 弊社ホームページ <http://www.yutakadenki.jp/>